

ヲ得

商法第六十條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 商法第五十六條第一項第二項第五十七條第一項第五十八條第一項第五十九條第六十一條第一項第三項第四項及ヒ第六十三條ノ規定ハ相互會社ノ社員總會ニ之ヲ準用ス

第四十六條 取締役及ヒ監査役ハ社員總會ニ於テ之ヲ選任ス

第四十七條 取締役及ヒ監査役ハ社員タルコトヲ要セス

第四十八條 取締役ハ社員總會ノ認許アルニ非サレハ同種ノ保險ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員、業務擔當社員、取締役又ハ監査役ト爲ルコトヲ得ス

第四十九條 取締役ハ社員名簿ヲ備ヘ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 社員ノ氏名、住所

二 各社員ノ保險契約ノ種類、保險金額及ヒ保險料

三 第三十七條第三號ノ場合ニ於テ各社員ノ責任ノ限度

第五十條 取締役ハ定款及ヒ總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且社員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クコトヲ要ス

社員及ヒ會社ノ債權者ハ專業時間内何時ニテモ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第五十二條 社員總會ニ於テ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議シタルトキ又ハ之ヲ否決シタル場合ニ於テ十分ノ一以上ノ社員方之ヲ監査役ニ請求シタルトキハ會社ハ決議又ハ請求ノ日ヨリ一个月内ニ訴ヲ提起スルコトヲ要ス但起訴ノ請求ヲ爲ス者ニ付キ定款ヲ以テ他ノ標準ヲ定

ハシテ得

前項ノ請求ヲ爲シタル社員ハ監査役ノ請求ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

會社ハ訴訟ナルトキハ右ノ社員ハ會社ニ對シテノ損害賠償ノ責任ニ任ズルコトヲ要ス

第五十二條 前條ノ請求ヲ爲シタル社員ハ特ニ會社ノ代表者ヲ指定スルコトヲ得

第五十三條 商法第六十五條乃至第六十七條第六十九條第七十條第七十四條第二項第七十六條第七十七條及ヒ第七十九條ノ規定ハ相互會社ノ取締役ニ之ヲ準用ス

第五十四條 社員總會ニ於テ監査役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議シタルトキ又ハ之ヲ否決シタル場合ニ於テ十分ノ一以上ノ社員方之ヲ取締役ニ請求シタルトキハ會社ハ決議又ハ請求ノ日ヨリ一个月内ニ訴ヲ提起スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第五十一條第二項但書第五十二條及ヒ

商法第六十五條第二項但書ノ規定ヲ準用ス

前項ノ請求ヲ爲シタル社員ハ取締役ノ請求ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

會社ハ訴訟ナルトキハ右ノ社員ハ會社ニ對シテノ損害賠償ノ責任ニ任ズルコトヲ要ス

第五十五條 商法第六十七條第七十九條乃至第八十四條第八十五條第一項第八十六條

及ヒ第八十八條ノ規定ハ相互會社ノ監査役ニ之ヲ準用ス

第五十六條 基金ハ每事業年度ノ剩餘金ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ償却スルコトヲ得ス基金ノ釀

出者ニ支拂フヘキ利息亦同シ

第五十七條 相互會社ハ損失ノ填補ニ備フル爲メ每事業年度ノ剩餘金中ヨリ準備金ヲ積立ツルコ

トヲ要ス

毎年積立ツヘキ金額及ヒ準備金ノ最低額ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第五十八條 設立費用及ヒ初ノ五年度ノ營業費ハ十年ヲ超エサル期間内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ從ヒ毎年其一部ヲ償却スルコトヲ得

第五十九條 設立費用及ヒ初ノ五年度ノ營業費ノ金額ヲ償却シ且第五十七條ノ準備金ヲ控除シタル後ニ非サルハ基金ヲ償却シ又ハ剩餘金ノ分配ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ前條ノ期間内ニ於テ基金ノ釀出者ニ利息ヲ支拂フコトヲ妨ケス

第六十條 基金ヲ償却スルトキハ其償却スル金額ト同一ノ金額ヲ積立ツルコトヲ要ス

第六十一條 剩餘金ハ定款ニ別段ノ定ナキトキハ各事業年度ノ終ニ於ケル社員ニ之ヲ分配ス

第六十二條 商法第九十條乃至第九十三條ノ規定ハ相互會社ノ計算ニ之ヲ準用ス

第五節 定款ノ變更

第六十三條 定款ヲ變更ハ會社總會ヲ決議ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得但其決議ノ認可ヲ得ルニ付キ必要ナル變更ハ社員總會ノ決議ヲ以テ之ヲ取締役ニ委任スルコトヲ得

第三十一條第二項ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第六十四條 會社ノ債務ニ關スル社員ノ責任ヲ減少セザルコトキハ商法第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第六十五條 定款ヲ以テ會社ノ存立時期ヲ定メタルト否トキ間ハス社員ハ事業年度ノ終ニ於テ退社ヲ爲スコトヲ得但六ヶ月前ニ其豫告ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條 社員ハ左ノ事由ニ因リテ退社ス

第六節 社員ノ退社

第一 定款ニ定メタル事由ノ發生

第二 死亡

第三 破産

第四 保險關係ノ消滅

第六十七條 退社員ハ定款又ハ保險約款ノ定ムル所ニ從ヒ其權利ニ屬スル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第六十八條 退社員ノ權利ニ屬スル金額ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ六ヶ月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

退社員ノ拂戻請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第六十九條 退社員ノ權利ニ屬スル金額ノ計算ヲ爲スニ當リ會社ニ現存スル財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ辨濟スルニ足ラサルトキハ退社員ハ其負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムコトヲ要ス

第七十條 退社員カ會社ニ對シテ負擔シタル債務アルトキハ會社ハ其退社員ニ拂戻スヘキ金額ノ中ヨリ其債務ノ金額ヲ控除スルコトヲ得

第七十一條 無限責任ヲ負フ社員及ヒ保險料ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負フ社員ハ登記所ニ備アル社員名簿ニ退社ノ記載ヲ爲ス前ニ生シタル會社ノ債務ニ付キ其記載後二年間責任ヲ負フ

前項ノ規定ハ第四十條及ヒ第四十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七節 解散

第七十二條 相互會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由之發生
- 二 社員カ百人未滿ニ減シタルコト
- 三 社員總會ノ決議
- 四 合併
- 五 破産
- 六 免許ノ取消

第七十三條 任意ノ解散及ヒ合併ノ決議ハ總社員ノ半数以上出席シ其四分ノ三ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ決議ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其效力ヲ生ゼス

第七十四條 合併ノ認可ヲ申請スルニハ申請書ニ合併契約書、財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十五條 商法第七十六條及ヒ第七十八條乃至第八十二條ノ規定ハ相互ニ會社之ヲ準用ス

第八節 清算

第七十六條 相互會社カ解散シタルトキハ合併及ヒ破産ノ場合ヲ除ク外本節ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 會社カ免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第七十八條 會社カ第七十二條第二號第三號又ハ第六號ニ掲ケタル事由ニ因リテ解散シタルトキハ保險金額ヲ支拂入ヘキ事由カ解散ノ時ヨリ一个月内ニ生シタルトキニ限り保險金額ヲ支拂フ

コトヲ要ス

前項ノ期間經過ノ後ハ損害保險ヲ目的トスル會社ニ在リテハ未タ經過セサル期間ニ對スル保險料、生命保險ヲ目的トスル會社ニ在リテハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第七十九條 清算人ハ左ノ順序ニ從ヒテ會社財産ヲ處分スルコトヲ要ス

- 一 一般ノ債務ノ辨濟
- 二 社員ノ保險金額及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ社員ニ拂戻スヘキ金額ノ支拂
- 三 基金ノ償却

社員ハ保險料ノ外基金ノ償却ニ付キ責任ヲ負フコトナシ

第八十條 殘餘財産ハ定款ニ別段ノ定ナキトキハ剩餘金ノ分配ト同一ノ割合ヲ以テ之ヲ社員ニ分配ス

第八十一條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ十分ノ一以上ノ社員ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得但此請求ヲ爲ス社員ニ付キ定款ヲ以テ他ノ標準ヲ定ムルコトヲ得

第八十二條 第四十四條第五十一條第五十四條商法第八十四條第九十條乃至第九十三條第九十七條第九十九條第五百九十九條第六十三條第七十六條第七十七條第八十一條第八十三條第九十七條第九十九條第一百八十五條第一項第九十三條第二百二十六條第二百二十七條第二百二十八條第一百八十四條第一百八十五條第一項第九十三條第二百二十六條第二百二十七條第二百二十八條第一百八十三條ノ規定ハ相互會社ノ清算ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九節 補則

第八十三條 各登記所ニ相互保險會社登記簿ヲ備フ
 第八十四條 相互會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
 申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 定款

二 社員名簿

三 社員ヲ募集シタル場合ニ於テハ各社員ノ入社申込證

四 主務官廳ノ免許書又ハ其認證アル謄本

五 創立總會ノ決議錄

第八十五條 相互會社ノ社員名簿ハ登記簿ノ一部ト看做シ社員名簿ニ爲シタル記載ハ之ヲ登記ト看做ス但之ヲ公告スルコトヲ要セス

第八十六條 相互會社ノ支配人ノ選任ノ登記ハ取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ規定ハ支配人ノ代理權ノ消滅又ハ解任ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十七條 相互會社カ免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ主務官廳ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十八條 第八十四條第一項ノ規定ハ相互會社ノ解散又ハ其合併ニ因ル變更若クハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十九條 非訴事件手續法第二百二十六條第一項第三項第三百三十六條乃至第三百九十九條第四百零一條乃至第四百六十五條第四百七十三條第四百七十四條第四百七十五條乃至第四百七十八條第四百八十八條第四百九十三條第一項第二項及ヒ第四百九十四條ノ規定ハ相互會社ニ之ヲ準用ス

第九十條 相互會社カ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ營利ヲ目的トモサル社團法人ト同一ノ登録稅ヲ納ムルコトヲ要ス

社員名簿ノ記載ニ付テハ登録稅ヲ課セス

第九十一條 相互會社ニハ營業稅ヲ課セス

第四章 計算

第九十二條 保險會社ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ其帳簿ヲ閉鎖シ總會終結ノ後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、事業報告書、損益計算書及ヒ基金ノ償却、其利息ノ支拂、準備金並ニ利益又ハ剩餘金ノ配當ニ關スル決議書ヲ主務官廳ニ提出スルコトヲ要ス

第九十三條 保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ會社ノ定時總會終結ノ後前條ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求メ又ハ其謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但定款又ハ保險約款ノ定ムル所ニ依リ其謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キ手数料ヲ拂フコトヲ要ス

第九十四條 第九十二條ニ掲ケタル書類ノ書式ハ農商務大臣之ヲ定ム

第九十五條 保險會社ハ保險契約ノ種類ニ從ヒ各事業年度ノ終ニ於テ存スル契約ニ付キ責任準備金ヲ計算シ且之ヲ特ニ設ケタル帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第九十六條 生命保險ニ在リテハ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ニ付キ會社財産ノ上ニ優先權ヲ有ス

第五章 罰則

第九十七條 主務官廳ノ免許ヲ得スシテ保險事業ヲ營ム者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル

第九十八條 保險會社ノ取締役、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過料

二處セラル

- 一 保險事業ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ
- 二 生命保險ト損害保險トヲ併セテ營ミタルトキ
- 三 主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ
- 四 主務官廳ノ検査ヲ妨ケタルトキ
- 五 正當ノ理由ナクシテ本法ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ閱覽セシメス又ハ其謄本若クハ抄本ヲ交付セザリシトキ
- 六 第十九條ノ規定ニ違反シテ利益ノ配當ヲ爲シタルトキ
- 七 第二十二條ノ規定ニ違反シテ合併ヲ爲シタルトキ
- 八 第九十五條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 第九十九條 相互會社ノ發起人、取締役、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以下ノ過料ニ處セラル
 - 一 本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
 - 二 本法ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ
 - 三 第三十條第三項ノ規定ニ反シ入社申込證ヲ作ラズ、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
 - 四 定款、社員名簿、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、事業報告書、損益計算書若クハ基金ノ積立償却、其利息ノ支拂、準備金、剩餘金分配ニ關スル議案ヲ事務所ニ備ヘ置カズ、之ニ記載スル

キ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

五 商法第八十一條ノ規定ニ依リ監査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

第一百條 相互會社ノ發起人、取締役、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第五十六條乃至第六十條ノ規定ニ違反シテ基金ヲ償却シ、其利息ヲ支拂ヒ又ハ剩餘金分配ヲ爲シタルトキ

三 第七十九條第一項ノ規定ニ違反シテ會社財産ヲ處分シタルトキ

四 商法第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ社員ノ責任ヲ減少シ又ハ合併ヲ爲シタルトキ

五 商法第七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

第一百一條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本章ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

附則

第一百二條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百三條 商法施行法第九十五條乃至第一百六條ハ之ヲ削除ス

第一百四條 本法施行前ニ設立シタル保險會社ニシテ其商號ニ保險ノ種類ヲ示ササルモノハ本法施行ノ日ヨリ三個月内ニ其商號ヲ改メ且本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二百五條 本法施行前ニ設立シタル保險會社ニシテ營業ノ免許ヲ受ケサリシモノカ主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ會社ノ解散ヲ命スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百二十六條第一項第三百三十四條第一項第三百三十五條及ヒ第三百三十五條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百六條 本法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ保險ヲ營業トスルモノハ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ル毎ニ遲滯ナク營業報告書、損益計算書及ヒ利益ノ配當ニ關スル案ト共ニ之ヲ主務官廳ニ提出スルコトヲ要ス

第二百七條 本法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ保險ヲ營業トスルモノカ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ル毎ニ保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ其閱覽ヲ求メ又ハ其謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但定款又ハ保險約款ノ定ムル所ニ依リ其謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キ手数料ヲ拂フコトヲ要ス

第二百八條 第三條第四條第八條乃至第十三條第七十三條第二項及ヒ第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル保險會社ニ之ヲ準用ス

第二百九條 本法施行前ニ設立シタル保險會社ニシテ相當ノ責任準備金ヲ積立テサルモノハ本法施行ノ日ヨリ三個月内ニ其不足額填補ノ方法ヲ定メ主務官廳ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス但填補ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス
前項ノ填補ヲ爲シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十條 第七十八條ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル保險會社カ第二十一條又ハ商法第七十四

條第三號第五號第七號第一百八條第二百一十一條第二號第三號ニ掲ケタル事由ニ因リテ解散シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百十一條 第九十二條及ヒ第九十三條ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル合資會社又ハ株式會社ニシテ保險ヲ營業トスルモノニ之ヲ準用ス

第三百十二條 第二十條乃至第二十二條及ヒ第七十七條ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル株式會社ニシテ保險ヲ營業トスルモノニ之ヲ準用ス

第三百十三條 第九十八條ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル保險會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役及ヒ清算人ニ之ヲ準用ス

第三百十四條 保險會社ノ業務ヲ執行スル社員又ハ取締役カ第四百四條又ハ第九條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

第三百十五條 外國人又ハ外國會社カ日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム場合ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

保險業法施行規則

(明治三十三年七月農商務省令第十五號)

保險業法施行規則左ノ通相定ム

保險業法施行規則

第一條 保險會社ノ發起人ハ發起ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲スニハ申請書ニ保險業法第五條及ヒ第六條ニ定メタル書類ヲ添附スルコトヲ要

ス

- 第二條 發起認可ノ申請ハ株主又ハ社員ヲ募集スル場合ニ於テハ其募集前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第三條 保險事業免許ノ申請ハ總取締役及ヒ總監査役ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 申請書ニハ保險業法第五條及ヒ第六條ニ掲ケタル書類ノ外非訟事件手續法第百八十七條第二項第二號乃至第六號及ヒ第九號ニ掲ケタル書類又ハ保險業法第八十四條第二項第二號第三號及ヒ第五號ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス
- 第四條 保險會社カ保險業法第八條ノ規定ニ依リ書類ノ變更ノ認可申請ヲ爲スニハ申請書ニ理由書ヲ添附スルコトヲ要ス
- 第五條 保險會社カ商法又ハ保險業法ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ルコトヲ要ス但社員名簿ニ爲シタル記載ハ此限ニ在ラス
- 第六條 保險會社ハ保險證券並ニ保險申込書ノ雛形及ヒ廣告ノ目的ヲ以テ調製シタル印刷物ヲ各一部ツツ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス
- 第七條 保險證券ニハ保險約款ノ全文ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
- 第八條 生命保險會社ハ保險業法第七條第六號及ヒ第七號ニ定メタル權利ノ範圍ニ付キ當事者ニ拂渡スヘキ金額其標準若クハ第十三號書式ニ準シ其金額ヲ推知スルニ足ルヘキ表ヲ保險證券ニ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添附スルコトヲ要ス
- 保險證券ニ對シ貸付ヲ爲スヘキコト又ハ將來ノ保險料ノ拂込免除ノ爲メニ保險金額ヲ減少スヘキコトヲ定メタルトキハ亦同シ

第九條 保險會社カ其財産ヲ利用スルニハ左ニ掲ケタル各方法ニ付キ其五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 無擔保貸付ヲ爲スコト
 - 二 同一人ニ貸付又ハ預金ヲ爲シ又ハ同一人ヲ保證人トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 三 同一會社ノ株券若クハ債券ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 四 同一物件ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 前項第二號及ヒ第三號ニ掲ケタル方法ニ依リテ利用シタル金額ハ之ヲ通算ス
- 第十條 事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役及ヒ監査役之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

- 一 事業年度ニ於ケル定款又ハ普通保險約款ノ變更其他重要ナル事件
- 二 事業ノ成績(第一號書式ニ準ス)
- 三 生命保險及ヒ火災保險ニ在リテハ統計(生命保險ニ在リテハ第二號乃至第七號書式、火災保險ニ在リテハ第八號書式ニ準ス)
- 第十一條 財産目錄、貸借對照表、損益計算書及ヒ基金ノ償却、其利息ノ支拂、準備金並ニ利益又ハ剩餘金ノ配當ニ關スル決議書ハ第九號乃至第十二號書式ニ準シテ之ヲ作ルコトヲ要ス
- 第十二條 財産目錄ノ一項目中ニ價額三千圓以上ノモノアルトキハ其項目ノ内譯トシテ之ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第十三條 財産目錄及ヒ貸借對照表ノ未收保險料中ニハ次ノ事業年度ニ於テ收入スヘキ保險料ヲ算入スヘカラス

第十四條 保險會社ハ支拂備金トシテ左ノ金額ヲ積立ツルコトヲ要ス

一 事業年度ニ於テ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキ場合ニ於テ未タ其支拂ヲ爲ササルトキハ其金額

二 事業年度ニ於テ生シタル事故ノ爲メニ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキコトアリト認ムルトキハ其支拂ヲ爲スニ相當ナル金額

第十五條 生命保險會社ノ責任準備金ハ保險料積立金及ヒ未經過保險料ニ區別スルコトヲ要ス

第十六條 生命保險會社カ純保險料式ニ依リテ保險料積立金ヲ算出セサルトキハ貸借對照表中責任準備金ノ下ニ純保險料式ニ依リテ算出シタル金額ヲ附記シ之ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第十七條 生命保險會社ノ未經過保險料ハ箇々ノ契約ニ付キ之ヲ計算セサルトキハ其事業年度ニ收入シタル保險料ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第十八條 損害保險會社ノ責任準備金ハ事業年度ニ於テ收入シタル保險料(再保險者ニ支拂ヒタル保險料ヲ控除ス)中ヨリ其年度ニ於テ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲メニ支拂ヒタル保險金額(再保險者ヨリ得タル保險金額ヲ控除ス)其契約ノ爲メニ積立ツヘキ支拂準備金及ヒ其年度ノ營業費ヲ控除シタル殘額ヲ下ルコトヲ得ス

第十九條 損害保險會社カ危險ノ發生セサル場合ニ於テ保險料ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スヘキ契約ヲ爲ストキハ事業年度ニ收入シタル保險料中ヨリ先ツ拂戻ニ充ツヘキ部分ヲ控除シ其殘額ニ付キ前條ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

會社ノ責任準備金ハ拂戻積立金ノ總額及ヒ前條ノ計算ニ依リテ生シタル殘額ノ合計額ヲ下ルコトヲ得ス

トヲ得ス

第二十條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル責任準備金カ保險契約ノ未經過期間ニ對シ不足ナルトキハ會社ハ相當ノ增額ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 責任準備金算出ノ爲メニ用ヒタル統計表、計算表其他算出ノ基礎及ヒ順序ヲ知ルニ必要ナル材料ハ次回ノ責任準備金算出ヲ結了スルマテ之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十二條 任意ノ解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表及ヒ保險契約ノ整理ニ關スル案ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十三條 合併ノ認可申請書ニハ保險業法第七十四條ニ掲ケタル書類ノ外理由書、總會ノ決議錄及ヒ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ノ定款ヲ添附スルコトヲ要ス

合併ノ認可アリタル後六个月内ニ合併ノ手續ニ著手セサルトキハ認可ハ其效力ヲ失フ

第二十四條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ本店又ハ主たる事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

前項ノ書類ハ強靱ナル美濃判大ノ料紙ヲ用ユルコトヲ要ス但印刷物ハ此限ニ在ラズ

第二十五條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ニシテ日本語ヲ以テ認メサルモノハ之ニ其譯文ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ農商務大臣ニ差出スヘキ書類中外國ノ貨幣ヲ以テ價額ヲ示シタル項目ニハ大藏大臣カ告示スル内外貨幣比較表ニ依リ日本ノ貨幣ニ換算シタル金額ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十七條 前二十四條ノ規定ハ保險業法施行前ニ設立シタル保險會社ニ之ヲ準用ス但保險業法

備考 保險ノ種類ハ生命保險ニ在リテ、死亡ハ生死混合保險ヲ含ム、生存、年金、徵兵等ニ分

年	年	年	營	ヒタル金額	支拂ヒタル金額	收	再保險ニ附シタルモノ	年	其	再保險ニ附シタルモノ	保險金額ノ半額以上ヲ支拂ヒタルモノ	再保險ニ附シタルモノ	保險金額ヲ支拂ヒタル契約	再保險ニ附シタルモノ	新
末	始	末	業	金額	金額	金額	金額	約	約	金額	金額	金額	金額	金額	約
金	金	金	費	額	額	額	額	件	件	件	件	件	件	件	件

施行ノ日ヨリ六個月間ハ第八條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得
 第二十八條 保險業法施行前ニ設立シタル保險會社ノ定款ノ規定ニシテ本則ノ規定ニ抵觸スルモノハ其施行ノ日ヨリ六個月内ニ之ヲ改ムルコトヲ要ス
 第二十九條 保險業法施行前ニ設立シタル會社カ其財産ヲ利用シタル方法カ第九條ノ制限ニ反スルモノ之ヲ改ムルコトヲ要セス但保險業法施行ノ後其利用ノ方法ヲ變更スルトキハ第九條ノ制限ノ趣旨ニ從フコトヲ要ス
 第三十條 商法施行前ニ設立シタル合名會社又ハ合資會社ニシテ保險ヲ目的トスルモノカ其組織ヲ變更シテ之ヲ株式會社ト爲サントスルトキハ其認可申請書ニ理由書、決議錄、財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ添附スルコトヲ要ス
 附則
 第三十一條 明治三十二年農商務省令第十一號ハ之ヲ廢止ス

第一號

自明治 年 月 日、保險事業成績一覽表
 至明治 年 月 日

年	再保險ニ附シタルモノ	死亡保險	生存保險	合計
年	金額			
再保險ニ附シタルモノ	金額			
死亡保險				
生存保險				
合計				

第二號

チ火災保險ニ在リテハ不動産、動産ニ分テ海上保險ニ在リテハ定時、航海ニ分テ更ニ航海
 ナ船舶ト貨物ニ分ツコトヲ要ス
 「件數」ハ生命保險ニ限リ人員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ妨ケス
 事業ノ性質ニ依リ概數ヲモ知ルコト能ハサル事項アルトキハ其各欄内ニハ單ニ縱線ヲ施ス
 コトヲ要ス

、保險契約種類別統計表

申年 始 現在 契約 成 約 成 約 成 約 成 約	利益配當付 終身保險		利益配當付 終身保險		養老保險		合計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								
年 末 現 在 契 約 成 約 成 約 成 約								

備考 本表ハ死亡(生死混合保險ヲ含ム)、生存、年金、徴兵等ノ各種類毎ニ之ヲ作ルコトヲ
 要ス以下第六號書式ニ至ルマテ皆同シ申込ノ數ニハ前年度ニ於ケル申込ニシテ其處分ヲ終
 ラサルモノヲ加フルコトヲ要ス

第三號

、保險契約金額別統計表

金額	新契約		被保險者ノ死亡シタルモノ		保險期間ノ満了シタルモノ		其他ノ事由ニ因リテ消滅シタルモノ		年末現在	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一百圓以下										
二百圓以下										
三百圓以下										
五百圓以下										
一千圓以下										
二千圓以下										
五千圓以下										
五千圓ヲ超ユル者										
合計										

備考 年金保險ニ在リテハ金額ノ階級ヲ各十分ノ一ニ改ムルコトヲ要ス
 「二百圓以下」ハ「一百圓ヲ含ム以下」ニ準ス

同種類ノ保險契約ト雖モ「利益配當付」ト「利益配當付ナシ」トアルトキハ之ヲ分ツコトヲ要ス
 解約ニハ保險料ノ不拂等ニ因リテ消滅シタルモノヲ算入スヘシ第六號書式亦同シ
 本表中ニ記載スヘキ人員ハ件數ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得以下第七號書式ニ至ルマテ皆同
 シ但此場合ニ於テハ「人員」ノ文字ヲ「件數」ト改ムヘシ

死 因	死亡保險被保險者年齡及性別死因統計表						
	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
腸 瘻 扶 斯 女							
痧 瘧 亞 瘧 男							
麻 刺 亞 瘧 男							
虎 刺 亞 瘧 男							
赤 痢 胃 病							
流 行 感 冒 病							
其 他 急 性 停 染 病							
肺 結 核 病							
其 他 ノ 器 臟 ノ 結 核							
梅 毒 核 酸							
脚 氣 腫 痛							
胃 腫 痛							
其 他 ノ 病 症							
精 神 病							
腦 溢 血 腦 貧 血							
腦 充 血 腦 貧 血							
合 計							

第七號

第六號

備考 「一年以下」ニハ一年ヲ含ム以下之ニ準ス第七號書式亦同シ

合 計	經 過 年 數	死 亡		解 約		年 末 現 在	
		人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
ナ要ス	一 年 以 下						
以上十年毎二分ツコト	二 年 以 下						
	三 年 以 下						
	十 五 年 以 下						
	二 十 年 以 下						
	三 十 年 以 下						
	合 計						

、保險契約經過年數別統計表

右ノ通相違無之候也

其他幾口(、、、、、)	
有假證券(附錄乙)(平均豫算利率年)	
不動産(附錄丙)(平均豫算利率年)	
什器	
未收利息	
未收保險料	
支店出張所代理店貸	
假拂金	
、	
、	
、	
合計	
負債	
株式又ハ基金	
保險業法第六十條積立金	
法定準備金	
責任準備金(附錄丁)	
支拂備金	
支店出張所代理店借	
、	
、	
、	
合計	

第九號

明治 年 月 日財産目錄

(會社ノ商號)

未拂込株金又ハ拂込基金

何 某 (別ニ明細表ヲ添附スルモノ)

何 某 (ハ第二十條ノ規定ニ依ラズ)

外何名 (此内譯チ省クコトヲ得)

現金

銀行預金

、銀行(平均利率年)

當座預金

、銀行(平均利率年)

外幾銀行(、、、)

貸付金(附錄甲)

不動産抵當(平均利率年)

有假證券擔保(、、、)

保險證券擔保(、、、)

無擔保(、、、)

•••••	•••••	•••••
•••••	•••••	•••••
•••••	•••••	•••••

第九號附錄丙

不動產明細表		有價證券明細表	
所在及種類	用法	券名	數
所在土地	構造	價額	證額
所在建物	坪數	券面額	枚
	價額	拂込額	付
	一年借取	利息	キ
	租稅及概算		
合計			

第九號附錄乙

第九號附錄甲

貸付金明細表

借主ノ氏名又ハ 證書ノ番號	金額	利率(年)	及還 ヒ償 方期 法限	擔 保
合計				

備考 一口三千圓未満ノ貸付金ハ財産目錄中「貸付金」ノ内譯ニ從ヒ其總額ヲ記載スルヲ得

明治 年 月 日

取締役

會社ノ帳簿及ヒ財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也

明治 年 月 日

監査役

第十號

明治 年 月 日 貸借對照表

<p>資 產</p> <ul style="list-style-type: none"> 未拂込株金又ハ未拂込基金 現金 銀行預金 貸付金 有價證券 不動産 什 器 未收利息 未收保険料 支店、出張所、代理店貸假拂金 未償却設立費用及營業費(附錄甲) 保險業法第九條未填補不足額(附錄乙) 損失又ハ不足 合 計 	<p>(會社ノ商號) 負 債</p> <ul style="list-style-type: none"> 株金又ハ基金 保險業法第六十條積立金 法定準備金 責任準備金 支拂備金 支店、出張所、代理店借 利益又ハ剩餘金 合 計
--	---

右ノ通相違無之候也

明治 年 月 日

取締役

會社帳簿及財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也

明治 年 月 日

監査役

第十號附錄甲

設立費用及ヒ營業費償却明細表

年 度	明 治 年	設 立 費 用			營 業 費			殘 額 合 計
		償 却 額	殘 額	各 年 營 業 費 償 却 額	償 却 額	殘 額		
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							

第十號附錄乙

保險業法第九條不足額填補明細表

年 度	明 治 年	不 足 額 填 補 額		殘 額
		填 補 額	殘 額	
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			
、	、			

宛臺灣總督ニ差出スコトヲ要ス

第七條 保險證券ニハ保險約款ノ全文ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第八條 生命保險會社ハ保險業法第七條第六號及第七號ニ定メタル權利ノ範圍ニ付當事者ニ拂渡スヘキ金額其標準若ハ第十三號書式ニ準シ其金額ヲ推知スルニ足ルヘキ表ヲ保險證券ニ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添付スルコトヲ要ス

保險證券ニ對シ貸付ヲ爲スヘキコト又ハ將來ノ保險料ノ拂込ノ免除ノ爲ニ保險金額ヲ減少スヘキコトヲ定メタルトキ亦同シ

第九條 保險會社力其財産ヲ利用スルニハ左ニ掲ケタル各方法ニ付キ其五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

一 無擔保貸付ヲ爲スコト

二 同一人ニ貸付又ハ預金ヲ爲シ又ハ同一人ヲ保證人トシテ貸付ヲ爲スコト

三 同一會社ノ株券若ハ債券ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

四 同一物件ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

前項第二號及第三條ニ掲ケタル方法ニ依リテ利用シタル金額ハ之ヲ通算ス

第十條 事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役及監查役之一署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一 事業年度ニ於ケル定款又ハ普通保險約款ノ變更其他重要ナル事件

二 事業ノ成績(第一號書式ニ準ス)

三 生命保險及火災保險ニアリテハ統計(生命保險ニアリテハ第二號乃至第七號書式、火災保險ニアリテハ第八號書式ニ準ス)

第十一條 財産目錄、貸借對照表、損益計算書及基金ノ償却、其利息ノ支拂、準備金並利益又ハ剩餘金ノ配當ニ關スル決議書ハ第九號乃至第十二號書式ニ準シテ之ヲ作ルコトヲ要ス

第十二條 財産目錄ノ一項目中ニ價額三千圓以上ノモノアルトキハ其項目ノ内譯トシテ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第十三條 財産目錄及貸借對照表ノ未收保險料中ニハ次ノ事業年度ニ於テ收入スヘキ保險料ヲ算入スヘカラス

第十四條 保險會社ハ支拂備金トシテ左ノ金額ヲ積立ツルコトヲ要ス

一 事業年度ニ於テ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキ場合ニ於テ未タ其支拂ヲ爲ササルトキハ其金額

二 事業年度ニ於テ生シタル事故ノ爲ニ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキコトアリト認ムルトキハ其支拂ヲ爲スニ相當ナル金額

第十五條 生命保險會社ノ責任準備金ハ保險料積立金及未經過保險料ニ區別スルコトヲ要ス

第十六條 生命保險會社力純保險料式ニ依リテ保險料積立金ヲ算出セサルトキハ貸借對照表中責任準備金ノ下ニ純保險料式ニ依リテ算出シタル金額ヲ附記シ之ヲ臺灣總督ニ差出スコトヲ要ス

第十七條 生命保險會社ノ未經過保險料ハ個個ノ契約ニ付キ之ヲ計算セサルトキハ其事業年度ニ收入シタル保險料ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第十八條 損害保險會社ノ責任準備金ハ事業年度ニ於テ收入シタル保險料ノ再保險者ニ支拂ヒタル保險料ヲ控除ス中ヨリ其年度ニ於テ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲ニ支拂ヒタル保險金額ノ再

保險者ヨリ得タル保險金額ヲ控除ス。其契約ノ爲ニ積立ツヘキ支拂備金及其年度ノ營業費ヲ控除シタル殘額ヲ下ルコトヲ得ス。

第十九條 損害保險會社カ危險ノ發生セサル場合ニ於テ保險料ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スヘキ契約ヲ爲ストキハ事業年度ニ收入シタル保險料中ヨリ先ツ拂戻ニ充ツヘキ部分ヲ控除シ其殘額ニ付前條ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス。

會社ノ責任準備金ハ拂戻積立金ノ總額及前條ノ計算ニ依リテ生シタル殘額ノ合計額ヲ下ルコトヲ得ス。

第二十條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル責任準備金カ保險契約ノ未經過期間ニ對シ不足ナルトキハ會社ハ相當ノ増額ヲ爲スコトヲ要ス。

第二十一條 責任準備金算出ノ爲ニ用ヒタル統計表、計算表其他算出ノ基礎及順序ヲ知ルニ必要ナル材料ハ次回ノ責任準備金算出ヲ結了スルマテ之ヲ保存スルコトヲ要ス。

第二十二條 任意ノ解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表及保險契約ノ整理ニ關スル案ヲ添付スルコトヲ要ス。

第二十三條 合併ノ認可申請書ニハ保險業法第七十四條ニ掲ケタル書類ノ外理由書、總會ノ決議錄及合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ノ定款ヲ添付スルコトヲ要ス。

合併ノ認可アリタル後六个月内ニ合併ノ手續ニ着手セサルトキハ認可ハ其效力ヲ失フ。

第二十四條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ臺灣總督ニ差出スヘキ書類ハ本店又ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス。

前項ノ書類ハ強靱ナル美濃判大ノ紙料ヲ用キルコトヲ要ス但印刷物ハ此限ニアラス。

第二十五條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ臺灣總督ニ差出スヘキ書類ニシテ日本語ヲ以テ認メサルモノハ之ニ其譯文ヲ添付スルコトヲ要ス。

第二十六條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ臺灣總督ニ差出スヘキ書類中外國ノ貨幣ヲ以テ價額ヲ示シタル項目ニハ大藏大臣カ告示スル内外貨幣比較表ニ依リ日本ノ貨幣ニ換算シタル金額ヲ附記スルコトヲ要ス。

第二十七條 前二十四條ノ規定ハ保險業法施行前ニ設立シタル保險會社ニ之ヲ準用ス但保險業法施行ノ日ヨリ六个月内ハ第八條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得。

第二十八條 保險業法施行前ニ設立シタル保險會社ノ定款ノ規定ニシテ本則ノ規定ニ抵觸スルモノハ其施行ノ日ヨリ六个月内ニ之ヲ改ムルコトヲ要ス。

第二十九條 保險業法施行前ニ設立シタル會社カ其財産ヲ利用シタル方法カ第九條ノ制限ニ反スルモノ之ヲ改ムルコトヲ要セス但保險業法施行ノ後其利用ノ方法ヲ變更スルトキハ第九條ノ制限ノ趣旨ニ從フコトヲ要ス。

第三十條 商法施行前ニ設立シタル合名會社又ハ合資會社ニシテ保險ヲ目的トスルモノカ其組織ヲ變更シテ之ヲ株式會社ト爲サントスルトキハ其認可申請書ニ理由書、決議錄、財産目錄及貸借對照表ヲ添付スルコトヲ要ス。

第三十一條 明治三十三年(三月)府令第二十三號ハ之ヲ廢止ス。

(參照) 明治三十三年(三月)臺灣總督府令第二十三號ハ保險會社ニ關スル件ナリ。

書式

第一號

第六號

合 計	、保險契約經過年數別統計表							死 亡		契 約		年 末 現 在	
	一 年 以 下	二 年 以 下	三 年 以 下	五 年 以 下	十 年 以 下	十 五 年 以 下	二 十 年 以 下	三 十 年 以 下	以上十年毎二分ツコトヲ要ス	人 員	金 額	人 員	金 額

備考 「一年以下」「二～一年ヲ含ム以下之ニ準ス第七號書式亦同シ

第五號

合 計	明治八年	明治九年	明治十年 女別	、保險被保險者死亡數比較統計表				
				生 年	在 年 始 現 契 約 人 員 金 額	在 年 末 現 契 約 人 員 金 額	實 際 死 亡 數	經 過 契 約 人 員 金 額

備考 二種ノ死亡表ヲ用ユルモノハ各別ニ本表ヲ作ルコトヲ要ス
「經過契約」下ハ「年始現在契約」、「年末現在契約」及ヒ「實際死亡數」ノ和ヲ二分シタルモノ
一ヲ謂フ

第九號附錄甲

貸付金明細表

借主ノ氏名又ハ 證書ノ番號	金 額	利率(年)	償還 方法及 期限	擔 保
合 計				

備考 一口三千圓未満ノ貸附金ハ財産目錄中「貸付金」ノ内譯ニ從ヒ其總額ヲ記載スル事ヲ得
第九號附錄乙

有價證券明細表

券 名	數	價 額	證 券	
			價 額	券 面 額
合 計				

一枚ニ付キ
價額一〇〇ニ對スル一年豫算利益比

未收保險料	
支店出張所代理店貸	
假拂金	
合 計	
株金又ハ基金	
保險業法第六十條積立金	
法定準備金	
責任準備金(附錄丁)	
支拂備金	
支店出張所代理店借	
合 計	

右ノ通相違無之候也
明治 年 月 日

會社ノ帳簿及ヒ財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也
明治 年 月 日
監查役

取締役

第九號附錄丙

不動產明細表

所在及種類 、 、所在土地 、 、所在建物	用法	構造	坪數	價額	一年間豫	租稅及 費用ノ概算
					算利益	
合計						

備考 「價額」以下ノ欄ニ記載スヘキ土地ト建物トニ分チ難キ者ハ其合計額ヲ記載スルコトヲ得

第九號附錄丁ノ一 (生命保險)

責任準備金明細表

計算ノ基礎 死亡表ノ名稱 利率	死亡保險			生存保險			合計
	終身	養老	、	、	、	、	

第九號附錄丁ノ二 (損害保險)

年未責任準備金	年末保險料積立金	年末未經過保險料	收入シタル保險料	年未保險料積立金	年未未經過保險料

責任準備金參考表

本年度ニ於テ收入シタル保險料

内 拂戻ニ充ツヘキ部分

本年度ニ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲メニ支拂ロタル保險金額

本年度ニ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲メニ積立タル支拂備金額

營業費

差引

外ニ

拂戻積立金

明治 年 月 満期契約ニ屬スル拂戻金、、、、ニ對シ

第十號附錄乙		第十號附錄甲	
年 度	年 度	年 度	年 度
明治	明治	明治	明治
不足額	填補額	設立費用及七營業費償却明細表	各年營業費償却額
殘額	殘額	營業費償却額	殘額
額	額	營業費償却額	殘額合計

右ノ通相違無之候也
明治 年 月 日
取締役
會社帳簿及七財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也
明治 年 月 日
監査役

第十號	
明治 年 月 日	日貸借對照表
資 産	負債
未拂込株金又ハ未拂込基金	株金又ハ基金
現行預金	保險法第六十條積立金
貸付金	法定準備金
有價証券	責任準備金
不動産	支拂備金
什器	支店出張所、代理店借
未收利息	利益又ハ剩餘金
未收保險料	
支店出張所、代理店貸	
假拂金	
未償却設立費用及營業費(附錄甲)	
保險法第九條未填補不足額(附錄乙)	
損失又ハ不足	
合計	合計

(會社ノ商號)

第十二號

自明治 年 月 日 損益計算書	
<p>前年度ヨリ繰越金 利益又ハ剩餘金 責任準備金 保 險 金 諸 利 息 財 產 評 價 却 損 財 產 損 失 再 保 險 金 保 險 金 財 產 損 失 財 產 損 失</p>	<p>收 入</p>
<p>前年度繰越損失又ハ不足 保 險 金 解 約 返 戻 金 其 他 業 務 返 戻 金 營 業 費 社 會 費 代 理 店 手 數 料 紹 介 手 報 酬 醫 師 報 酬</p>	<p>支 出</p>
<p>合 計</p>	<p>合 計</p>
<p>次年度繰越金 責任準備金 支拂金</p>	<p>次年度繰越損失又ハ不足 保 險 金 諸 利 息 財 產 評 價 却 損 財 產 損 失 再 保 險 金 保 險 金 財 產 損 失 財 產 損 失</p>
<p>合 計</p>	<p>合 計</p>

(會社ノ商號)

第十二號

自明治 年 月 日 損益計算書	
<p>前年度ヨリ繰越金 利益又ハ剩餘金 責任準備金 保 險 金 諸 利 息 財 產 評 價 却 損 財 產 損 失 再 保 險 金 保 險 金 財 產 損 失 財 產 損 失</p>	<p>收 入</p>
<p>前年度繰越損失又ハ不足 保 險 金 解 約 返 戻 金 其 他 業 務 返 戻 金 營 業 費 社 會 費 代 理 店 手 數 料 紹 介 手 報 酬 醫 師 報 酬</p>	<p>支 出</p>
<p>合 計</p>	<p>合 計</p>
<p>次年度繰越金 責任準備金 支拂金</p>	<p>次年度繰越損失又ハ不足 保 險 金 諸 利 息 財 產 評 價 却 損 財 產 損 失 再 保 險 金 保 險 金 財 產 損 失 財 產 損 失</p>
<p>合 計</p>	<p>合 計</p>

右ノ通相違無之候也

會社帳簿及ヒ財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也

取締役
 監査役

利益又ハ剩餘金
 之ヲ處分スルコト左ノ如シ
 法定準備金
 保險業法第六十條積立金
 役員賞與金
 基金利息
 保險契約配當金
 株金又ハ基金配當金
 次年度へ繰越

右ノ通明治 年 月 日總會ニ於テ決議ス

(會社ノ商號)

第十三號

「尋常終身保險解約價額」表

(保險金額一〇〇ニ對スル比)

經過年數	一	二	三	四	五	一〇	一五	二〇	二五	三〇
八〇										
七〇										
六〇										
五〇										
四〇										
三〇										
二〇										
一〇										
一										

取締役
監査役

外國保險會社ニ關スル件

(明治三十三年九月勅令第三百八十八號)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ外國保險會社ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 外國會社カ日本ニ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ムトキハ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムルコトヲ要ス

商法第六十二條ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第二條 外國會社ハ其日本ニ於ケル事業ノ本據及ヒ代表者ノ氏名、住所ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第三條 外國會社カ免許ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 定款

二 日本ニ於ケル事業ノ方法書

三 普通保險約款

四 保險料及ヒ責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類

五 最終ノ財産目錄、貸借對照表及ヒ損益計算書

六 生命保險ヲ目的トスルモノニ在リテハ責任準備金利用ノ方法ヲ記載シタル書類

前項第一號乃至第四號及ヒ第六號ニ掲ケタル書類ノ變更ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ其效力ヲ生ゼス

第四條 外國會社カ主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキハ主務官廳ハ其日本ニ於ケル事業ノ停止若クハ代表者ノ改任ヲ命ジ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第五條 主務官廳ハ必要ト認ムルトキハ外國會社ヲシテ相當ノ金額ヲ供託セシムルコトヲ得
外國會社ハ供託ヲ命セラレタル場合ニ於テハ主務官廳ノ認許シタル有價證券ヲ以テ其金額ニ代
スルコトヲ得

第六條 日本ニ於ケル保險契約者、被保險者、保險金額ヲ受取ルヘキ者又ハ外國相互會社ノ社員ハ
供託物ノ上ニ優先權ヲ有ス

第七條 外國相互會社ノ日本ニ於ケル一般ノ債權者ハ社員及ヒ外國ニ於ケル債權者ニ對シ供託物
ノ上ニ優先權ヲ有ス

第八條 外國會社ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ其日本ニ於ケル事業ノ報告書ヲ作り之ヲ主務官廳
ニ提出スルコトヲ要ス

第九條 外國會社ノ本國ニ於テ作りタル財産目錄、貸借對照表、事業報告書及ヒ損益計算書ハ遲滯
ナク之ヲ主務官廳ニ提出スルコトヲ要ス

第十條 外國會社ノ代表者ハ定款、日本ニ於ケル社員ノ名簿及ヒ前二條ニ掲ケタル書類ヲ日本ニ
於ケル事業ノ本據ニ備スルコトヲ要ス

日本ニ於ケル保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ前二條ニ掲ケタル書類ノ閱
覽ヲ求メ又ハ其謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但定款又ハ保險約款ノ定ムル處ニ依
リ其謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キ手数料ヲ拂フコトヲ要ス

第十一條 外國會社カ其事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テハ第六條又ハ第七條ノ
規定ニ依リテ優先權ヲ有スル者ニ對シテ爲シ又ハ擔保ヲ供スルニ非サレハ供託物ノ返還ヲ請求
スルコトヲ得ス

第十二條 主務官廳カ日本ニ支店又ハ事務所ヲ設ケタル外國會社ノ免許ヲ取消シタルトキハ其處
分確定ノ後遲滯ナク其旨ヲ支店又ハ事務所ノ所在地ノ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ支店又ハ事務所ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第十三條 外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以下ノ過料ニ處セラル
一 本令ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 第八條又ハ第九條ニ掲ケタル書類ヲ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ
不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

第十四條 外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル

一 保險事業ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ

二 生命保險ト損害保險トヲ併セテ營ミタルトキ

三 主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

四 主務官廳ノ検査ヲ妨ケタルトキ

五 主務官廳ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

六 正當ノ理由ナクシテ本令ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ閱覽セシメス又ハ其謄本若ク
ハ抄本ヲ交付セザリシトキ

第十五條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ニ定メタル過料ニ之ヲ準用
ス

第十六條 保險業法第一條第三條第四條第七條第九條乃至第十一條及ヒ第九十七條ノ規定ハ外國
會社ニ之ヲ準用ス

第十七條 商法第九條第十一條乃至第十五條第十九條乃至第三十八條第四十條第四十一條第二
五十五條乃至第二百五十八條及ヒ保險業法第八十五條第八十六條第九十條第九十一條ノ規定ハ
外國相互會社ニ之ヲ準用ス

第十八條 各登記所ニ外國相互保險會社登記簿ヲ備フ

第十九條 外國相互會社カ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキハ會社ノ代
表者ハ申請書ニ其日本ニ於ケル事業ノ本據及ヒ代表者ノ氏名、住所ヲ記載シ且之ニ左ノ書面ヲ
添附スルコトヲ要ス

一 主タル事務所ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面

二 代表者タル資格ヲ證スル書面

三 會社ノ定款又ハ會社ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面

四 日本ニ於ケル社員ノ名簿

五 主務官廳ノ免許書又ハ其認證アル謄本

前項第一號乃至第三號ノ書面ハ會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證ヲ受ケタルヨ
リナルコトヲ要ス

第二十條 外國相互會社代表者カ支配人ノ選任ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其日本ニ
於ケル事務所設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ且之ニ支配人ノ選任ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ
要ス

第二十一條 非訟事件手續法第三百二十九條第四百一條乃至第四百九條第五百一一條第五百十
四條乃至第六百六十五條第七百七十三條第一項第七百七十四條第二項第二百三條及ヒ第二百四條ノ規

定ハ外國相互會社ニ之ヲ準用ス

第二十二條 第一條乃至第六條第八條乃至第十一條及ヒ第十三條乃至第十六條ノ規定ハ外國人カ
日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム場合ニ之ヲ準用ス

附則

第二十三條 本令ハ明治三十三年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 本令施行前ニ日本支店、事務所又ハ代理店ヲ設ケタル外國人又ハ外國會社ハ其施行
ノ日ヨリ六箇月内ニ其日本ニ於ケル事業ノ本據ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第二十五條 第四條乃至第十五條第十七條第二十條保險業法第一條第三條第四條第九條乃至第十
一條第九十七條及ヒ非訟事件手續法第七百七十三條第一項第七百七十四條第二項ノ規定ハ本令施行
前ニ日本支店、事務所又ハ代理店ヲ設ケタル外國人又ハ外國會社ニ之ヲ準用ス

外國保險會社ニ關スル件 (明治三十三年十月農商務省令第十九號)

外國保險會社ニ關スル件左ノ通相定ム

外國保險會社ニ關スル件

第一條 外國會社ノ保險事業ノ免許ノ申請ハ代表者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ明治三十三年勅令第三百八十號第三條ニ掲ケタル書類ノ外本店又ハ主タル事務所ノ
存在ヲ認ムルニ足ル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條 外國會社カ明治三十三年勅令第三百八十號第三條第一項第一號乃至第四號及ヒ第六號ニ
掲ケタル書類ノ變更ノ認可申請ヲ爲スニハ申請書ニ理由書ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條 外國會社カ商法又ハ明治三十三年勅令第三百八十號ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ
遲滯ナク登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス但社員名簿ニ
寫シタル記載ハ此限ニ在ラス

第四條 外國會社カ解散、合併又ハ組織變更ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ農商務大臣ニ届出
ツルコトヲ要ス

第五條 明治三十三年農商務省令第十五號第六條乃至第八條第十條及ヒ第十四條乃至第二十一條
ノ規定ハ外國會社ノ日本ニ於ケル事業ニ之ヲ準用ス

第六條 明治三十三年農商務省令第十五號第二十四條乃至第二十六條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準
用ス

第七條 前五條ノ規定ハ本令施行前ニ免許ヲ受ケタル外國會社ニ之ヲ準用ス但本令施行ノ日ヨリ
二年間ハ明治三十三年農商務省令第十五號第八條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第八條 本令ハ明治三十三年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五編 商事非訟事件印紙法

商事非訟事件印紙法 (明治二十三年八月法律第六十六號)

朕商事非訟事件印紙法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘ
キコトヲ命ス

商事非訟事件印紙法

第一條 商法中登記ニ關ル場合ヲ除ク外非訟事件ニ付裁判所ノ命令其他ノ處分ヲ求ムル者ハ以下
數條ノ手續ニ從ヒ其差出ス書類ニ「民事訴訟用印紙」ヲ貼用ス可シ但口述ヲ以テスル場合ニ於
テハ其調書ニ印紙ヲ貼用ス可シ(明治二十三年勅令第四百四號ヲ以テ訴訟用印紙ヲ貼用スヘキ
場合ニ於テ收入印紙法用スルキコトヲ定ム)

第五條第六條第七條ノ場合ニ於テハ管財人ヨリ差出ス計算書ニ印紙ヲ貼用ス可シ

第二條 左ニ掲ケルモノニ付テハ五十錢ノ印紙ヲ貼用ス可シ
一 抗告又ハ假差押ノ申立
二 債權者ヨリ爲ス破産宣告ノ申立
三 支拂擔保ノ申立

第三條 左ニ掲ケルモノニ付テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用ス可シ
一 抗告ニ對スル答辯
二 裁判所ノ命令其他ノ處分ノ申立ニシテ本法ニ於テ特ニ規定セサル非訟事件ニ係ルモノ

第四條 破産手續ニ付テハ破産財團中ノ貸方金額ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用ス可シ但財團
管理費用其他破産手續上ノ費用及ヒ財團ノ爲メニ負擔シタル債務並ニ別除ノ辨濟ニ供スル金額
ノ貸方金額ヨリ之ヲ控除ス可キモノトス
財團ノ價額五圓マテ

- 同 十圓マテ
- 同 二十圓マテ
- 同 四十錢
- 同 六十錢
- 同 二十圓マテ

同 五十圓マテ
 同 七十五圓マテ
 同 百圓マテ
 同 二百圓マテ
 同 五百圓マテ
 同 七百五十圓マテ
 同 千圓マテ
 同 二千五百圓マテ
 同 五千圓マテ
 同 五千圓以上ノ千圓ニ達スル毎ニ四圓ヲ加フ

第五條 破産手續ニ付テハ財團ノ配當アル毎ニ其配當金額ノ割合ヲ以テ印紙價額ニ相當スル金額ヲ引去リ置キ終局計算ニ至リ配當金額高ノ割合ニ從ヒ相當印紙ヲ貼用ス可シ

第六條 協諾契約ニ依リ手續ヲ止メタルトキハ第四條ニ掲ケタル印紙ノ半額ヲ貼用ス可シ

第七條 破産手續再施ノ場合ニ於テハ破産手續開始ニ於ケル場合ト同ノ印紙ヲ貼用ス可シ

第八條 本法ニ定ムル印紙代價ノ負擔ニ付テハ民事訴訟法第一編第二章第五節ノ規定ヲ準用ス

民事訴訟用印紙ハ本法ノ規定ニ抵觸セザルモノニ限り之ヲ準用ス

第六編 商業登記

第一章 商業登記

商業登記取扱手續

(明治三十二年五月司法省令第十三號)

商業登記取扱手續左ノ通相定ム

商業登記取扱手續

第一條 商業登記簿ハ附録第一號乃至第九號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ但合資會社登記簿ヲ調製スルニハ附録第七號雜形ノ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ト社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙トヲ別チ初メテ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ヲ纏メ其末尾ニ社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ヲ纏メテ之ヲ編綴スヘシ

外國會社登記簿ノ雜形ハ附録第六號乃至第九號ニ依ルヘシ

第二條 商業登記簿ハ市町村毎ニ別冊ト爲スヘシ但市制又ハ町村制ヲ施行セザル地方ニ在リテハ從來ノ町村其他之ニ類スル區域毎ニ別冊ト爲シ東京市、京都市及ヒ大阪市ニ在リテハ其各區毎ニ別冊ト爲スヘシ

第三條 商業施行法第十五條第一項ニ依ル商號ノ登記ノ爲メ東京市及ヒ大阪市ニ存スル登記所(東京區裁判所及ヒ大阪區裁判所ノ本廳ヲ除ク)ノ管轄毎ニ別ニ商業登記簿ヲ備フヘシ

第四條 商業登記簿ノ見出帳ハ附録第十號乃至第十九號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 受附帳ハ附録第二十號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第六條 法律ニ依リ登記ノ申請書ニ捺印スヘキ者ハ豫メ其印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但登記ノ申請ニ付キ委任ニ因ル代理ヲ爲ス者ハ此限ニ在ラス

第七條 印鑑ハ附録第二十一號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

- 第八條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
 - 一 謄本抄本證明書交付帳
 - 二 商號登記申請書附屬書類級込帳
 - 三 未成年者登記申請書附屬書類級込帳
 - 四 妻登記申請書附屬書類級込帳(三五年司法省令第一六號ニテ本號改正)
 - 五 後見人登記申請書附屬書類級込帳
 - 六 支配人登記申請書附屬書類級込帳
 - 七 合資會社登記申請書囑託書通知書附屬書類級込帳(同上)
 - 八 合資會社登記申請書囑託書通知書附屬書類級込帳(同上)
 - 九 株式會社登記申請書囑託書通知書附屬書類級込帳(同上)
 - 十 株式合資會社登記申請書囑託書通知書附屬書類級込帳(同上)
 - 十一 外國會社登記申請書囑託書通知書附屬書類級込帳(同上)
 - 十二 受領證原符元帳
 - 十三 決定原本級込帳
 - 十四 登記簿謄本級込帳
 - 十五 登記簿附屬書類級込帳
 - 十六 抗告書類級込帳
 - 十七 印鑑簿
- 第八條ノ二 前條第一號乃至第十六號ノ帳簿ハ二十年毎ニ別冊ト爲スヘシ(同令ニテ本條追加)

- 第九條 登記ノ爲メ當事者ノ提出シタル申請書其他ノ書面ニシテ登記所ニ保存スヘキモノハ之ニ登記簿ノ冊數及ヒ其丁數ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從テ提出年月日ノ順序ヲ遵テ之ヲ編綴スヘシ
- 第九條ノ二 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ(同上)
- 受附帳及ヒ登記簿謄本級込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
- 決定原本級込帳及ヒ抗告書類級込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ
- 謄本抄本證明書交付帳、受領證原符元帳及ヒ登記簿附屬書類級込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ
- 前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度シ翌年ヨリ之ヲ起算ス
- 第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閲覧又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ヲ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ
- 第十一條 登記簿又ハ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其關係ヲ説明スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ
- 一 登記簿ノ種類
- 二 閲覧モシト欲スル登記事項
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日
- 第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ
- 一 登記簿ノ種類

- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

第十三條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第十四條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名(會社カ申請人ナルトキハ其商號)受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十六條 申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十七條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ハ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交又スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

第十九條 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第二十一條 商法第五十一條第二項第五十二條第一項第八十一條又ハ第百十八條第二項等ノ規定ニ依リ同法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

非訟事件手續法第百三十五條ノ二及ヒ第百三十五條ノ三ニ定メタル營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

同法第百五十三條及ヒ第百七十條第二項ノ規定ニ依リ商業登記ニ記載スヘキ事項ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

保險ヲ營業トスル株式會社設立費用償却ノ方法ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ(明治三十三年六月司法省令第二十號ヲ以テ本項及次項ヲ加フ)

私設鐵道法第十四條第一項ノ規定ニ依ル本免許ノ年月日及ヒ第三十五條第三項ノ規定ニ依ル合併ノ認可ヲ受ルタル年月日ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十一條ノ二 擔保附社債信託法ニ依ル社債ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スヘシ(三九年一月司法省令第一號ヲ以テ本條ヲ追加ス)

第二十一條ノ三 登記官吏カ擔保附社債信託法第十五條ノ規定ニ依リ主務官廳ヨリ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ規定ニ從フヘシ(同上)

一 囑託カ信託會社ノ事業ノ停止ニ關スル場合ニ於テハ登記用紙中豫備欄ニ其登記ヲ爲スヘシ
二 囑託カ銀行事業ヲ兼ヌル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ目的變更ノ登記ヲ爲スヘシ

三 囑託カ信託事業ヲ專業トスル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ解散ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十二條 社債又ハ資本若クハ株金ノ增加ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付キ更ニ登記ヲ爲スヘキ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十三條 非訟事件手續法第四百十八條ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ
前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ
金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ノ之ヲ改竄スルヲ得ス若シ訂正ノ挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

第二十六條 登記ノ公告ハ登記官シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 登記ノ申請人ハ登記簿證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第二十二號條形ニ依リ登記簿證ヲ交付スヘシ

第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數丁數及登記番號ヲ記入スヘシ

第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出ヲ抹スヘシ

第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、後見人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ策何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ抹スヘシ

第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ但登記簿ノ謄本ニハ現存セル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル

番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス

第三十四條 同一ノ當事者ヨリ數箇ノ商號ノ登記ノ申請アリタルトキハ各商號ニ付キ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第三十五條 商業ヲ營ム未成年者カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ未成年者ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十六條 商業ヲ營ム妻カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ妻ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ其夫ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十七條 被後見人ノ爲メニ商業ヲ營ム後見人カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ後見人ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ後見監督人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十八條 前條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記事項ノ消滅シタルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第三十九條 數人ノ支配人ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第四十條 登記ヲ爲シタル未成年者、妻若クハ後見人ノ營業所又ハ支配人ヲ置キタル營業所カ登記ノ管轄外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ他ノ營業所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ營業所カ商號ノ效力ヲ有スル區域外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ市町村又ハ商號ノ登記ノ效力ニ付キ市町村ニ準スヘキ區域ノ變更ニ因リ商號ノ登記ノ效力カ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 合資會社ノ社員ノ氏名、住所、出資及ヒ責任ノ登記ハ登記簿ノ末尾ニ編綴セル用紙ニ之ヲ爲スヘシ其登記事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ付テモ亦同シ

第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ遺付ヲ請求スル場合ニ於テ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ遺付スルトキハ其謄本ニ原本遺付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十七條 外國會社ノ登記ハ其會社ト同種ノ會社ノ登記簿又ハ最モ之ニ類似セル會社ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

登記人ヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ登記シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第四十八條 外國會社ノ支店廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條 商法施行前ニ登記シタル事項ノ變更若ハ消滅ノ登記又ハ商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シ其會社ニ付キ商法施行法ノ規定ニ依リ其會社ノ登記ニ追加スヘキ事項ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ但從來ノ登記用紙中相當ノ欄ナキ事項ニ付テハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ市町村又ハ商號ノ登記ノ效力ニ付キ市町村ニ準スヘキ區域ノ變更ニ因リ商號ノ登記ノ效力カ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 合資會社ノ社員ノ氏名、住所、出資及ヒ責任ノ登記ハ登記簿ノ末尾ニ編綴セル用紙ニ之ヲ爲スヘシ其登記事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ付テモ亦同シ

第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ遺付ヲ請求スル場合ニ於テ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ遺付スルトキハ其謄本ニ原本遺付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十七條 外國會社ノ登記ハ其會社ト同種ノ會社ノ登記簿又ハ最モ之ニ類似セル會社ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

登記人ヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ登記シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第四十八條 外國會社ノ支店廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條 商法施行前ニ登記シタル事項ノ變更若ハ消滅ノ登記又ハ商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シ其會社ニ付キ商法施行法ノ規定ニ依リ其會社ノ登記ニ追加スヘキ事項ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ但從來ノ登記用紙中相當ノ欄ナキ事項ニ付テハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

更 變		登 記 番 號			
		一 商 號	二 營 業 種 類	三 營 業 所	四 住 者 商 業 使 用 所 之 氏 名
更 變		登 記 日 及 官 印	備 註		
消 滅	更 變	右 明 治 年 月 日 登 記	丁		
明 治 年 月 日 登 記					

第五十條 不動産登記法施行細則第四條第五條第十二條第十三條第二十條乃至第二十四條第三十七條第三十三條乃至第三十九條第四十七條第五十一條第七十一條第一項及七十七條第四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

附錄第一號

商 號 登 記 簿

區 裁 判 所

紙 數 表 紙 ナ 除 キ

枚

地 方 裁 判 所 長

備 察		登 記 番 號	備 察		登 記 番 號
一 未 成 年 者 之 住 所	二 營 業 所	三 營 業 所	四 營 業 所	五 營 業 所	六 營 業 所
右 明 治 年 月 日 登 記					
減 消	更 變	減 消	更 變	減 消	更 變
明 治 年 月 日 登 記		明 治 年 月 日 登 記			

備 察		登 記 番 號	備 察		登 記 番 號
一 未 成 年 者 之 住 所	二 營 業 所	三 營 業 所	四 營 業 所	五 營 業 所	六 營 業 所
表 紙 ヲ 除 キ					
地 方 裁 判 所 長					
減 消	更 變	減 消	更 變	減 消	更 變
區 裁 判 所					

附錄第二號

未
成
年
者
登
記
簿

番登記				番登記			
號	第	種	一	號	第	種	一
備	豫	登月登 記日記 官及官 印年	三 營 業 所	二 種 業 ノ	名 妻 ノ 住 所 氏	備	豫
		右 明 治 年 月 日 登 記					
減消	更	變		減消	更	變	
明治 年 月 日 登 記				明治 年 月 日 登 記			

紙數表		簿	
地方裁判所長			
區裁判所			

備 豫		登 記 番 號			
登 記 日 期	登 記 官 印	四 營 業 所	三 種 營 業 類	二 被 後 見 人 所	一 後 見 人 所
		人 登 記 所			
減 消		更 變			

備 豫		登 記 番 號			
登 記 日 期	登 記 官 印	四 營 業 所	三 種 營 業 類	二 被 後 見 人 所	一 後 見 人 所
		右 明 治 年 月 日 登 記			
減 消		更 變			

附 錄 第 四 號

後 見 人 登 記 簿

紙 數 表 紙 等 除 外

地 方 裁 判 所 長

區 裁 判 所

備 豫		登 記 番 號					備 豫		登 記 番 號						
減 消	更 變	一 支 配 人 之 氏 名	二 主 人 之 住 所	三 主 人 之 營 業	四 支 配 人 之 商 號 用	五 支 配 人 之 期 所 置	登 記 官 印	登 記 日 年 月	一 支 配 人 之 氏 名	二 主 人 之 住 所	三 主 人 之 營 業	四 支 配 人 之 商 號 用	五 支 配 人 之 期 所 置	登 記 官 印	登 記 日 年 月
明治 年 月 日 登 記															
								右 明 治 年 月 日 登 記							

附 錄 第 五 號

支 配 人 登 記 簿

紙 數 表 紙 除 外

地 方 裁 判 所 長

裁

區 裁 判 所

備 豫		一 ノ 清 算 結 了 年 月 日	十 名 清 算 人 之 住 所 氏 名	九 及 解 散 申 請 年 月 日	八 存 立 期 間 申 請 年 月 日	六 代 表 社 員 之 氏 名	五 年 設 立 日 之 月 日	四 日 的 店	三 支 店	二 本 店	一 商 號	登 記 日 之 月 日 及 登 記 第 一 號 第 二 號
備 豫		明治 年 月 日 登 記	明治 年 月 日 登 記	明治 年 月 日 登 記								明 治 年 月 日 登 記
備 豫		社 名 所 資 種 及 價 員 氏 住 出 之 類 格										

備 豫		附 錄 第 六 號	
備 豫		合 名 會 社 登 記 簿	
備 豫		紙 數 表 紙 才 除 キ	
備 豫		地 方 裁 判 所 長	
備 豫		區 裁 判 所	

紙 效 表 紙 十 除 十 枚

地 方 裁 判 所 長

附 錄 第 七 號

合 資 會 社 登 記 簿

區 裁 判 所

更 變	更 變
更 變	更 變
更 變	更 變

丁

更 變	更 變
更 變	更 變

丁

備 豫	號 第					登 記 番 號
	六ノ代表社員	五ノ裁月立日	四ノ目的	三ノ支店	二ノ本店	一ノ商號
備 豫	十ノ清算終了年月日	九ノ解散年月日	八ノ存立時期又解散時期	七ノ住所	七ノ社員姓名	七ノ丁數
備 豫	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記

丁

紙 數 表 紙 才 除 中
 地 方 裁 判 所 長
 枚

附 錄 第 八 號
 株 式 會 社 登 記 簿
 區 裁 判 所

第 號							登 記 番 號
社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	社 員 名、 住 所、 出 資、 種 類、 價 格 及 上 責 任	商 號
更							變
更							變

丁

紙數表紙ヲ除キ
 地方裁判所長
 枚

附錄第九號
 株式合資會社登記簿
 區裁判所

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

更	變	備 豫	三 月 日	二 清 算 人 ノ	四 所 氏 名 住 ノ	五 了 算 年 結
			明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	
更	變	備 豫	豫			
丁						

番 登 記 號		號		一 商 號		二 本 店		三 支 店		四 目 的		五 年 設 月 日	
第 一 欄	第 二 欄	第 三 欄	第 四 欄	第 五 欄	第 六 欄	第 七 欄	第 八 欄	第 九 欄	第 十 欄	第 十 一 欄	第 十 二 欄	第 十 三 欄	第 十 四 欄
明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記
六 株 額 金	七 一 額 株	八 各 株 三 付 金 額	九 公 告 方 法	十 代 表 社 員 氏 名	十 一 監 査 役 氏 名	十 二 存 立 期 間	十 三 開 業 前 三 箇 年 之 利 率	十 四 社 債 之 額	十 五 各 社 債 之 額	十 六 社 債 之 利 率	十 七 社 債 之 利 率	十 八 社 債 之 利 率	十 九 社 債 之 利 率
無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價	無 任 員 氏 住 株 以 資 種 及 價
丁													

部										
										商 號 ノ 登 冊 記 簿 ノ 登 丁 記 簿
										登 記 番 號
										備 考

附錄第十號

商號登記見出帳

區
裁
判
所

更 變		更 變	
更 變		更 變	

部 /		部 /	
	ノ未成年者		ノ未成年者
	ノ登記簿		ノ登記簿
	ノ登記簿		ノ登記簿
	登記番號		登記番號
	備考		備考

丁

部 /	
	商號
	ノ登記簿
	ノ登記簿
	登記番號
	備考

附錄第十一號

未成年者登記見出帳

區 裁 判 所

附錄第十三號

後見人登記見出帳

區
裁
判
所

部 〃										妻ノ氏名	ノ登記簿	ノ登記簿	登記番號	備考

部 〃										妻ノ氏名	ノ登記簿	ノ登記簿	登記番號	備考

附錄第十二號

妻登記見出帳

區
裁
判
所

部					部				
				ノ合 商名 號會 社					ノ合 商名 號會 社
				ノ登 册記 數簿					ノ登 册記 數簿
				ノ登 丁記 數簿					ノ登 丁記 數簿
				登記 番號					登記 番號
				備 考					備 考

部				
				ノ支 氏配 名人
				ノ登 册記 數簿
				ノ登 丁記 數簿
				登記 番號
				備 考

附錄第十五號

合名會社登記見出帳

區 裁 判 所

部 入			
			株式合資會社ノ商號
			ノ登記簿
			ノ登記簿
			登記番號
			備考

附錄第十八號

株式合資會社登記見出帳

區 裁 判 所

部 入			
			株式合資會社ノ商號
			ノ登記簿
			ノ登記簿
			登記番號
			備考

丁

部 /										部 /									
					社外 名國會											社外 名國會			
					ノ登 冊記 數簿											ノ登 冊記 數簿			
					ノ登 丁記 數簿											ノ登 丁記 數簿			
					登記 番號											登記 番號			
					備 考											備 考			

部 /										
					株式合資會 ノ商號					
					ノ登 冊記 數簿					
					ノ登 丁記 數簿					
					登記 番號					
					備 考					

附錄第十九號

外國會社登記見出帳

區
裁
判
所

(注意) 會社ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ會社ノ營業所ノ所在地、會社ノ商號並ニ代表

印 鑑	氏 名
何年何月生	

郡市町村番地

附錄第二十一號 (用紙厚紙堅五寸横一寸)

年受 月附 日ノ	受附番 號	目登 的記ノ	ノ申 氏請 名人	備 考

附錄第二十號

商業登記受附帳

區 裁 判 所

年受 月附 日ノ	受附番 號	目登 的記ノ	ノ申 氏請 名人	備 考

丁

者ノ資格ヲ記載スヘシ
附錄第二十二號

登記簿		登記簿		登記簿		登記簿	
登記ノ種類	登記番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名	住所	登記ノ年月日	登記簿	
						右登記簿ナルコトヲ證ス	
					明治 年 月 日	區 裁 判 所	

商業登記ニ關スル取扱手續

(明治三十二年七月臺灣總督府令第六十七號)

商業登記ニ關スル取扱手續ハ明治三十二年(五月)司法部令第十三號商業登記取扱手續ニ依ル但シ同取扱手續中地方裁判所ノ職務ニ屬セシメタルモノハ覆審法院ヲシテ之ヲ行ハシム(明治三十五年二月臺灣總督府令第十三號ヲ以テ但書ヲ追加ス)本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

商業登記取扱所

(明治三十二年六月司法部令第十六號)

東京地方裁判所管内東京區裁判所八重洲町出張所同富士見町出張所、同二長町出張所、同林町出張所ノ管轄ニ屬スル商業登記事務ハ東京區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
大阪地方裁判所管内大阪區裁判所島ノ内出張所、同天滿出張所、同上町出張所ノ管轄ニ屬スル商業登記ノ事務ハ大阪區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ本年六月十六日ヨリ施行ス

同上

(明治三十二年六月司法部令第十八號)

横濱地方裁判所管内横濱區裁判所小袋谷出張所管轄相模國鎌倉郡深澤村大字山崎同區裁判所一ノ宮出張所管轄相模國高座郡松林村大字香川ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所藤澤出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第十九號)

水戸地方裁判所管内下妻區裁判所管轄常陸國筑波郡作岡村大字安食ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同地方裁判所管内土浦區裁判所北條出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内土浦區裁判所北條出張所管轄常陸國筑波郡吉沼村大字牛給、大砂ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同地方裁判所管内下妻區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十號)

宇都宮地方裁判所管内大田原區裁判所黑磯出張所管轄下野國那須郡那須村大字高久、湯本ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所蘆野出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十一號)

奈良地方裁判所管内五條區裁判所下市出張所管轄大和國吉野郡白銀村大字唐戸、尼ヶ生、八ッ川、南山、十日市、小古田、鹿場ニ屬スル商業登記ノ事務ハ五條區裁判所ニ於テ同區裁判所下市出張所管轄大和國吉野郡大淀村大字楡垣本、土田、越部、畑屋、矢走、持尾、芦原、岩壺、鉾立、下淵、今本、藥水、大岩ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所上市出張所ニ於テ同區裁判所坂本出張所管轄大和

國吉野郡天川村大字九尾、枌尾、和田、籠山、庵住、山西、廣瀬、瀧尾、鹽野、辰巳屋新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所下市出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十二號)

岡山地方裁判所管内高梁區裁判所東成羽出張所管轄備中國川上郡落合村大字原田、福地ニ屬スル商業登記ノ事務ハ高梁區裁判所ニ於テ同區裁判所管轄備中國川上郡松原村大字神原及同區裁判所吹屋出張所管轄備中國川上郡中村大字布寄ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所東成羽出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内津山區裁判所加茂出張所管轄美作國東北條郡神庭村大字吉見、綾部ニ屬スル商業登記ノ事務ハ津山區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十三號)

金澤地方裁判所管内小松區裁判所別宮出張所管轄加賀國能美郡尾口村大字東二口、女原、瀬戸、東荒谷、尾添ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所白峯出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内輪島區裁判所管轄能登國鳳至郡西保村大字大澤、赤崎、小池、下山ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所柳比出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十四號)

和歌山地方裁判所管内田邊區裁判所周參見出張所管轄紀伊國西牟婁郡大都河村大字小河内、大附、小阿、柿垣内、矢ノ口、矢ヶ谷ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所江住出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十五號)

高知地方裁判所管内高知區裁判所領石出張所管轄土佐國長岡郡岡豐村大字笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、瀧本、蒲原ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所後免出張所ニ於テ同區裁判所領石出張所管轄土佐國長岡郡天坪村大字戸手野、角茂谷ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所川口出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内赤岡區裁判所山田出張所管轄土佐國香美郡佐古村大字戸板島ニ屬スル商業登記ノ事務ハ赤岡區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内須崎區裁判所高岡出張所管轄土佐國高岡郡浦ノ内村大字浦ノ内ニ屬スル商業登記ノ事務ハ須崎區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内中村區裁判所管轄土佐國幡多郡伊豆田村大字立石ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所清水出張所ニ於テ同區裁判所宿毛出張所管轄土佐國幡多郡小筑紫村大字都賀ノ川、田ノ浦、呼崎小浦、内外ノ浦、湊浦ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所弘見出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十六號)

佐賀地方裁判所管内唐津區裁判所管轄肥前國東松浦郡久里村大字雙水、夕日、久里、柏崎、中原、原、西原ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所相知出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内伊萬里區裁判所畑津出張所管轄肥前國西松浦郡黒川村大字福田、鹽屋、小黒川、畑川内、長尾、眞手野ニ屬スル商業登記ノ事務ハ伊萬里區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十七號)

山口地方裁判所管内岩國區裁判所廣瀬出張所管轄周防國玖珂郡河波村大字四馬神、添谷、小川ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所本郷出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同上 (明治三十二年六月司法省令第二十八號)

松山地方裁判所管内松山區裁判所中山出張所管轄伊豫國伊豫郡下灘村大字石疊ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所郡中出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内宇和島區裁判所土居出張所管轄伊豫國東宇和郡魚成村大字下相、男河内ニ屬ス

ル商業登記ノ事務ハ同區裁判所野村出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十二年六月司法省令第二十九號)

仙臺地方裁判所管内古川區裁判所松山出張所管轄陸前國志田郡敷玉村大字青生ニ屬スル商業登記ノ事務ハ古川區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十二年六月司法省令第三十號)

山形地方裁判所管内山形區裁判所上ノ山出張所管轄羽前國南村山郡堀田村大字半郷、金瓶、上野、山神、高湯及本澤村大字菅澤、長谷堂ニ屬スル商業登記ノ事務ハ山形區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十二年六月司法省令第三十一號)

盛岡地方裁判所管内花巻區裁判所管轄陸中國和賀郡飯豊村大字成田、飯豊、村崎野ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所黒澤尻出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内遠野區裁判所大槌出張所管轄陸中國上閉伊郡鶴住居村大字鶴住居、片岸、箱崎ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所釜石出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内福岡區裁判所荒屋出張所管轄陸中國二戸郡淨法寺村大字駒ヶ嶺、大清水ニ屬ス

ル商業登記ノ事務ハ福岡區裁判所ニ於テ同區裁判所久慈出張所管轄陸中國九戸郡山形村大字戸呂町、巖ノ内ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所葛巻出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
同地方裁判所管内水澤區裁判所岩谷堂出張所管轄陸中國江刺郡羽田村大字向森、荒川、麥屋、下屋敷、森、寶柳木、寶生、寺前、堀ノ内、室ノ木、中袋、小屋鋪、久保、栗ノ瀬、竝柳、上小谷木、下小谷木、元谷木、下沼、上ノ端、川縁、上新田、御山下、向畑、下川ノ端、窪田、和田、八木澤、蘆ヶ澤、洗田、水無澤、笹、赤羽根、化石、北鶴木、沼尻、門下、西田、向田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ水澤區裁判所ニ於テ及同管轄陸中國江刺郡玉里村大字次丸ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所米里出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十二年六月司法省令第三十二號)

青森地方裁判所管内弘前區裁判所管轄陸奥國南津輕郡石川村大字石川、大澤、森山ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所蔵館出張所ニ於テ同區裁判所藤崎出張所管轄陸奥國南津輕郡光田寺村大字川邊、和泉ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所黒石出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同地方裁判所管内嚙ヶ澤區裁判所深浦出張所管轄陸奥國西津輕郡大戸瀬村大字風合瀬、森木ニ屬スル商業登記ノ事務ハ嚙ヶ澤區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十二年八月司法省令第五十一號)

「高知地方裁判所管内赤岡區裁判所誕生出張所管轄土佐國香美郡在所村大字梅久保、大井平、大東、永野、朴ノ木、谷相、中谷、横谷、川ノ内、根須ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所大柄出張所ニ於テ之ヲ取扱フ」(明治三十六年二月司法省令第二號ニ依リ本項消滅)

同 上 (明治三十二年十一月司法省令第五十六號)

大阪地方裁判所管内大阪區裁判所天王寺出張所ノ管轄ニ屬スル商業登記ノ事務ハ大阪區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十三年二月司法省令第五號)

京都地方裁判所管内京都區裁判所下京出張所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ハ京都區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十三年二月十五日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十三年六月司法省令第十六號)

廣島地方裁判所管内竹原區裁判所西條出張所管轄安藝國賀茂郡賀永村大字上三永ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所ニ於テ同區裁判所白市出張所管轄安藝國豐田郡戸野村大字造賀ニ屬スル商

業登記ノ事務ハ同區裁判所乃美出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十三年七月十五日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十三年十月司法省令第四十號)

横濱地方裁判所管内横濱區裁判所一ノ宮出張所管轄相模國高座郡小出村大字下寺尾、行谷ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所藤澤出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十四年三月司法省令第五號)

横濱地方裁判所管内横濱區裁判所神奈川出張所管轄横濱市神奈川町、青木町、淺間町、岡野町、久保町ニ屬スル商業登記ノ事務ハ横濱區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年四月司法省令第七號)

大分地方裁判所管内杵築區裁判所瀬戸田出張所管轄豊後國東郡奈狩江村大字横城、奈多ニ屬スル商業登記及夫婦財産契約法人登記ノ事務ハ杵築區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十四年七月司法省令第十二號)

大津地方裁判所管内大津區裁判所守山出張所管轄近江國栗太郡葉山村大字出庭、辻、高野ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所草津出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十四年八月一日ヨリ施行ス
同 上 (明治三十四年十月司法省令第十八號)

新潟地方裁判所管内三條區裁判所卷出張所管轄越後國西蒲原郡大原村大字國見、今井、大曾根、新飯田、飯田、上新田、新飯田、下新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同地方裁判所管内新潟區裁判所白根出張所ニ於テ新潟區裁判所管轄同國同郡赤塚村大字中權寺同郡中野小屋村大字榎尾、高山、笠木、藤通ノ内字仲才同區裁判所白根出張所管轄同郡道上村大字三ツ門新ニ屬スル商業登記ノ事務ハ三條區裁判所卷出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第十九號)

新潟地方裁判所管内三條區裁判所管轄越後國南蒲原郡坂井村大字三林同郡中之島村大字六所、西高山、新田、中西、眞野代新田、中條新田、下沼新田、四野、赤沼、小沼新田、大沼新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同地方裁判所管内長岡區裁判所見附出張所ニ於テ長岡區裁判所與板出張所管轄同國三島郡大河津村大字田尻、町郷井、平野新田、大川津、北曾根、敦夕曾根、萬善寺、高内、求草、木輕井、矢田、馬越、岩方、仁ノ村外新田同區裁判所寺泊出張所管轄同郡同村大字竹森、小豆曾根、新長、鰯口、下桐、藤田、木島、五分一、有信ニ屬スル商業登記ノ事務ハ三條區裁判所地藏堂出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十號)

新潟地方裁判所管内柏崎區裁判所管轄越後國中頸城郡米山村大字上輪、上輪新田、笠島、青海川ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同地方裁判所管内高田區裁判所柿崎出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十一號)

新潟地方裁判所管内新潟區裁判所新津出張所管轄越後國中蒲原郡兩川村大字割野、嘉瀬及同區裁判所白根出張所管轄同國西蒲原郡黒崎村大字板井、木場、大湯田、湯植出、場ノ内字大湯ニ屬スル商業登記ノ事務ハ新潟區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十二號)

新潟地方裁判所管内三條區裁判所地藏堂出張所管轄越後國西蒲原郡小池村大字柳山、杉名、杉柳、道金、八王子、小池同區裁判所卷出張所管轄同郡太田村大字花見櫻町ニ屬スル商業登記ノ事務ハ三條區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十三號)

新潟地方裁判所管内新發田區裁判所水原出張所管轄越後國北蒲原郡長浦村大字岡新田、上畑田、下畑田、大月新田、里飯野、長場新田同部岡方村大字平林、十二新田、山飯野、灰塚新田、大迎、長戸呂、長戸呂新田之丙字大瀬柳ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所葛塚出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十四號)

新潟地方裁判所管内長岡區裁判所出雲崎出張所管轄越後國三島郡島田付大字高森、高月、坂谷、落水、籠田、村岡、村田、邊張、邊張村北組、吉田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所與板出張所ニ於テ同區裁判所片貝出張所管轄同郡深才村大字深澤、親澤與板出張所管轄同國古志郡下川西村大字川袋、李崎、脇川新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ長岡區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十五號)

新潟地方裁判所管内六日町區裁判所浦佐出張所管轄越後國南魚沼郡大卷村大字五日町ニ屬スル商業登記ノ事務ハ六日町區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十六號)

新潟地方裁判所管内柏崎區裁判所椎谷出張所管轄越後國刈羽郡刈羽村大字十日市、西元寺、寺尾、

入和田、瀧谷、瀧谷新田、寶藏寺新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ柏崎區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十七號)

新潟地方裁判所管内高田區裁判所安塚出張所管轄越後國東頸城郡牧村大字高谷、切光、今清水、泉ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所飯田出張所ニ於テ同區裁判所島坂出張所管轄同國中頸城郡關山村大字坂口新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所關山出張所ニ於テ同區裁判所飯田出張所管轄同郡三郷村大字下稻塚、東稻塚新田及同區裁判所直江津出張所管轄同郡春日村大字五智國分、愛宕國分、昆沙門國分、大場、善光寺濱、居多、國分寺、虫生岩戸、居田及同區裁判所島坂出張所管轄同郡聖太村大字五日市、上四ノ屋、谷内林新田、上八幡新田、新保新田、坂井新田、梨木、藤塚新田、土田、猪野山、小丸山新田、長森、三ツ俣ニ屬スル商業登記ノ事務ハ高田區裁判所ニ於テ同區裁判所中吉川出張所管轄同郡黒岩村大字狸平、東横山ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所柿崎出張所ニ於テ同出張所管轄同郡大湊村大字下柳町新田、大谷内新田、柳町新田、寺田新田、富田新田、止柳町新田、中柳町新田、岡田新田、下池田新田、中城新田、片津、姥谷内新田、西湊新田、大坂井、田中新田、上泉新田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所直江津出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十八號)

新潟地方裁判所管内糸魚川區裁判所能生出張所管轄越後國西頸城郡浦本村大字鬼伏ニ屬スル商業

登記ノ事務ハ糸魚川區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十月司法省令第二十九號)

新潟地方裁判所管内相川區裁判所新町出張所管轄佐渡郡赤泊村大字上加茂、下川茂、外山同區裁判所小木出張所管轄同郡同村大字大杉、杉野浦、新保、柳澤、眞浦ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所松本出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十一月司法省令第三十號)

静岡地方裁判所管内濱松區裁判所山香出張所管轄遠江國磐田郡龍山村大字瀨尻、下平山ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所二俣出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十四年十一月二十日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十四年十一月司法省令第三十一號)

高松地方裁判所管内丸龜區裁判所多度津出張所管轄岐國仲多度郡善通寺町大字吉田ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所琴平出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十四年十一月二十五日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十五年二月司法省令第二號)

大分地方裁判所管内大分區裁判所別府出張所管轄豐後國大分郡石城川村大字内成、田代ニ屬スル商業登記及ヒ夫婦財産契約法人登記ノ事務ハ本分區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

同 上 (明治三十五年四月司法省令第七號)

函館地方裁判所管内函館區裁判所戸井出張所管轄渡島國龜田郡鏡龜澤村大字石崎ニ屬スル商業登記ノ事務ハ函館區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十五年四月十日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十五年六月司法省令第十號)

大阪地方裁判所管内大阪區裁判所九條出張所ノ管轄ニ屬スル法人及夫婦財産契約ニ關スル登記商業登記ノ事務ハ大阪區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十五年七月一日ヨリ施行ス

同 上 (明治三十六年二月司法省令第二號)

高知地方裁判所管内赤岡區裁判所大枿出張所管轄土佐國香美郡在所村大字藤野、永瀬、猪野々ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所並生出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十二年司法省令第五十一號中高知地方裁判所管内赤岡區裁判所並生出張所ノ管轄ニ屬スル
商業登記ノ事務取扱ノ件ハ之ヲ廢止ス
本令ハ明治三十六年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス

同上 (明治三十六年四月司法省令第十二號)

岡山地方裁判所管内岡山區裁判所味野區出張所管轄前國兒島郡莊内村大字白尾、瀧、長尾、廣岡ニ
屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所所置清出張所ニ於テ之ヲ取扱フ
本令ハ明治三十六年四月二十三日ヨリ施行ス

同上 (明治三十七年二月司法省令第五號)

神戸地方裁判所管内神戸區裁判所兵庫出張所ノ管轄ニ屬スル商業登記ノ事務ハ神戸區裁判所ニ於
テ之ヲ取扱フ
本令ハ兵庫出張所開廳ノ日ヨリ施行ス

第二章 互相保險會社登記

相互保險會社登記取扱手續 (明治三十三年六月司法省令第十八號)

相互保險會社登記取扱手續左ノ通相定ム
相互保險會社登記取扱手續

第一條 相互保險會社登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

外國相互保險會社登記簿ハ附錄第一號雜形ニ準シ之ヲ調製スヘシ (明治三十三年九月司法省令
第三十五號ヲ以テ本項ヲ追加ス)

第二條 相互保險會社登記見出帳ハ附錄第二號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

外國相互保險會社登記見出帳ハ附錄第二號雜形ニ準シ之ヲ調製スヘシ (同上)

第三條 相互保險會社社員登記簿ハ附錄第三號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

外國相互保險會社社員登記簿ハ附錄第三號雜形ニ準シ之ヲ調製スヘシ (同上)

第四條 登記所ニハ登記簿、社員名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ (明治三十三年司法
省令第三十五號ヲ以テ第三號ヲ追加シテ以下順次繰下ケ尙三十五年同省令十八號ヲ以テ第二號
及第三號ニ追加ヲ施ス)

一 謄本抄本證明書交付帳

二 相互保險會社登記申請書囑託書附屬書類送込帳

三 外國相互保險會社登記申請書通知書屆書附屬書類送込帳

四 受領證原符元帳

五 決定原本送込帳

六 登記簿謄本送込帳

七 登記簿送交付帳

八 抗告書類送込帳

九 印鑑簿

第四條之二 前條第一號乃至第八號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ（明治三十五年七月司法省令第十八號ヲ以テ本條ヲ加フ）

第五條 相互會社ノ設立ノ申請書ニハ設立ノ年月日ヲ記載スヘシ

外國相互保險會社ノ登記ノ申請書ニ添附スヘキ書類カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ添附スヘシ（同上法令ニテ本項ヲ追加ス）

第六條 登記所ニ差出スヘキ社員名簿ノ表紙ハ厚紙ヲ用ヒ表面ニ（何々相互會社）社員名簿ト記載シ裏面ニ其枚數ヲ記載シ申請人記名捺印スヘシ

社員名簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

前二項ニ於テ取締役又ハ監查役カ多數ナルトキハ各一人ノ記名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第七條 社員名簿カ一冊以上ナルトキハ申請人ハ各冊ノ表紙ニ其冊數ヲ記載スヘシ

第八條 社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其中申請書ニ變更シタル事項ヲ記載スル用紙ヲ編綴セル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第九條 相互會社ノ設立ノ年月日ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

第十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ社員名簿ノ表紙ニ登記番號、受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記所ノ名稱ヲ記載スヘシ

第十一條 社員名簿ノ記載ノ申請アリタルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄ニ其登記簿ニ於テル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ變更シタル事項ノ記載アル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ノ規定ニ依リ社員名簿ニ記載シタル事項ヲ移シタル上變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ社員名簿中相當部分ノ餘白ニ社員登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第十二條 社員ノ入社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ニ掲ケタル事項ヲ登記スヘシ

第十三條 社員ノ退社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ社員名簿中相當部分ノ餘白ニ其登記ヲ爲シ退社シタル社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

若シ其社員カ社員登記簿ニ登記セラレタル者ナルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中變更欄ニ退社ノ登記ヲ爲シ登記番號及ヒ其社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

第十四條 社員登記簿ノ登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ編綴セル社員登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ社員ノ氏名、住所ヲ移シタル上登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字竝ニ繼續用紙ヲ編綴セル社員登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續ナル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケ然場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 不賦產登記法施行細則第四條第五條第十二條第二十條乃至第二十四條第二十七條第三十三條乃至第三十九條第四十七條第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條第九條乃至第二十條第二十一條第二十三條第二十五條乃至第三十三條第四十四條乃至第四十六條第四

				番 登 記 號		第 號				
四	十	三	二	六	五	四	三	二	一	記 及 年 登 記 官 月 日 印 登 日 第 十 四 號 明 治 年 月 日 登 記
散 期 存 立 所	又 立 所	氏 監 查 役 名 住	所 氏 名 住	キ 基 金 額 利 有 之 出 入	總 基 金 額	事 業 之 範 圍	保 險 之 種 類	事 務 所	名 稱	
				七	八	九	十	十一	備 註	
				ノ 基 金 價 却 方 法	ノ 用 立 法 却 費	方 法 立 法 却 費	方 法 立 法 却 費	方 法 立 法 却 費	方 法 立 法 却 費	方 法 立 法 却 費
				明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記	明 治 年 月 日 登 記

十七條第二項第四十八條ノ規定ハ相互保險會社ノ登記ニ之ヲ準用ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ改
 受附番號ハ明治三十三年分ニ限り七月一日ニ始メ十二月三十一日ニ止ムヘシ

附 則

附 錄 第 一 號

相 互 保 險 會 社 登 記 簿

區 裁 判 所

紙 數 表 紙 ナ 除 キ 枚

地 方 裁 判 所 長

更 變	更 變
更 變	更 變

丁

更 變	備 環
更 變	更 變

丁

附錄第三號

「何々々々」相互社會社員登記簿

區 裁 判 所

(丁) 丙ノ朱書

部										
										相互保險會 社ノ名稱
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										登記番號
										備 考

部										
										相互保險會 社ノ名稱
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										登記番號
										備 考

附錄第二號

相互保險會社登記見出帳

區 裁 判 所

丁

紙 數 表 紙 ナ 除 キ 枚

地 方 裁 判 所 長

番 號	第 一 欄	第 二 欄	第 三 欄	第 四 欄	第 五 欄
登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	第一欄ヨリ第五欄マテ「入社又ハ變更登記ヲ 爲ス」ニ因リ明治何年何月何日一登 記又ハ撤消	社員ノ氏名、住所	保險契約ノ種類	保 險 金 額	保 費
變更		社員ノ責任ノ限度			
變更					

相互保險會社ニ關スル登記事務取扱所

(明治三十三年七月司法省令第二十三號)

相互保險會社ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

外國相互保險會社登記取扱所

(明治三十三年十月司法省令第三十八號)

外國相互保險會社ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等

番 號	第 一 欄	第 二 欄	第 三 欄	第 四 欄	第 五 欄
登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	第一欄ヨリ第五欄マテ	社員ノ氏名、住所	保險契約ノ種類	保 險 金 額	保 費
變更		社員ノ責任ノ限度			
變更					

二關スル手數料

(明治三十三年六月司法省令第九號)

相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十三年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

外國相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求ニ關スル手數料

(明治三十三年九月司法省令第三十六號)

外國相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

相互保險會社登記ニ關スル取扱手續ハ明治三十三年司法省令第十八號ニ依ルノ件

(明治三十三年(十二月)臺灣總督府令第百十六號)

相互保險會社登記ニ關スル取扱手續ハ明治三十三年(六月)司法省令第十八號相互保險會社登記取扱手續ニ依ル

但シ地方裁判所ノ職務ニ屬セシメタルモノハ覆審法院ヲシテ之ヲ行ハシム(明治三十六年一月臺灣總督府令第五號ヲ以テ本但書ヲ追加ス)

第三章 船舶登記

船舶登記規則

(明治三十二年六月勅令第二百七十號)

朕船舶登記規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

船舶登記規則

第一章 總則

第一條 不動産登記法第二條乃至第七條第九條第一項第十條第十二條第十三條第十八條乃至第三十五條第三十八條乃至第六十六條第六十九條乃至第七十八條第一百一條第一百八條第一百十七條第一百十九條第二百一十條第二百二十二條乃至第二百二十七條第四百一十一條第四百二十二條第四百四十四條乃至第四百四十八條及ヒ第五百五十條乃至第五百五十九條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二章 登記所

第二條 此規則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外船舶港ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

船舶港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ司法大臣管轄登記所ヲ指定ス

第三條 登記所ハ船舶所有權移轉ノ登記又ハ第三十條ノ規定ニ依ル抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ通知スルコトヲ要ス

管海官廳ハ第十六條ニ掲ケタル事項又ハ船舶港ノ變更アリタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

第三章 登記簿

第四條 登記簿ハ船籍港毎ニ別冊ト爲ス

第五條 登記簿ハ一艘ノ船舶ニ付キ一用紙ヲ備フ

第六條 登記簿ハ其用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁ノ四區ニ分チ尙ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各船舶ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ第十六條ノ規定ニ依リテ船舶ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ船舶管理人ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第四章 登記手續

第一節 通則

第七條 登記ヲ申請スルニハ始メテ船舶所有權ノ登記ヲ申請スル場合及ヒ第十一條第一項ノ場合ヲ除ク外申請書ニ登記證書ヲ添附スルコトヲ要ス

第八條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ種類、名稱及ヒ積量
- 二 船籍港

三 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項

第九條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ所有權ノ登記名義人ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 登記證書ヲ滅失シタルトキハ船舶力船籍港ニ淀泊スル場合ニ限り所有權ノ登記名義人ハ其登記ヲ爲シタル登記所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ更ニ登記證書ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ區裁判所ハ裁判ヲ爲ス前船長ヲ訊問スルコトヲ要ス

第十一條 所有權ノ登記名義人ハ登記證書ヲ提出セシテ證明ヲ申請スルコトヲ得此場合ニ於テハ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記證書ヲ提出スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ之ヲ提出シテ更ニ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二條 登記官吏カ前條第二項ノ申請ヲ受ケタルトキハ特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シ其末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ申請書受付ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ順位番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ之ニ關スル特別登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十三條 特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ申請者以外ノ當事者ニ對シ之ニ本登記簿

證ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ第四十五條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル登記アルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

不動産登記法第七十五條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第十四條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ書面ニ依リ自己カ所有者タルコトヲ證スル者ヨリ其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第七條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ管海官廳ヨリ交付シタル船舶件名書ノ謄本及ヒ次條第一項第八號並ニ第二項第四號第五號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

日本ニ於テ製造シタル船舶ニ付キ始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其船舶ノ製造地ヲ管轄スル登記所ノ特別登記簿ノ謄本又ハ特別登記簿ニ其船舶ニ關スル登記ナキコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第十六條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ表示欄ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ種類及ヒ名稱
- 二 國籍取得ノ年月日但日本ニ於テ船舶ヲ製造シタル場合ハ此限ニ在ラス
- 三 外板ノ材料
- 四 船骨ノ材料
- 五 積ノ數

六 總噸數

七 登簿噸數

八 進水ノ年月日

汽船ニ在リテハ前ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 汽機ノ種類及ヒ數
- 二 汽罐ノ種類及ヒ數
- 三 推進器ノ種類

- 四 汽機製造ノ年月日
- 五 汽罐製造ノ年月日

石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在リテハ總噸數及ヒ登簿噸數ニ代ヘテ積石數ヲ記載スルコトヲ要ス

第十七條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記官吏カ其登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ヲ作り之ニ登記番號、船舶ノ種類、名稱並ニ積量、船籍港及ヒ第九條ニ掲ケタル事項ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第十八條 所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記權利者カ日本人ナルコトヲ證スル戶籍吏ノ書面其他之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第十九條 所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ登記權利者カ商會社其他ノ法人ナルトキハ申請書ニ其本店又ハ主たる事務所ノ所在地及ヒ船舶法第一條ニ掲ケタル社員、無限責任社員、取締役員業務擔當社員若クハ代表者ノ氏名ヲ記載シ且之ヲ證スル登記ノ謄本、抄本又ハ登記簿及

此等ノ者カ日本人ナルコトヲ證スル戸籍吏ノ書面其他之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ニ於テ既ニ商法第五十一條乃至第五十三條第百七條第百四十一條第百四十二條商法第百三十八條又ハ民法第四十六條ノ規定ニ依リテ登記ヲ爲シタルトキハ前項ニ定メタル登記ノ謄本、抄本又ハ登記簿證ヲ添附スルコトヲ要セス

第二十二條 船メテ所有權ヲ登記ヲ申請スル場合ニ於テ船舶力數人ノ共有ニ屬スルトキハ申請書ニ各共有者ノ持分及ヒ船舶管理人ノ氏名、住所ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ船舶所有者カ其所有權ノ一部ヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 第十六條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ船舶所有者カ船籍港ヲ變更シタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ運滯ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ同一ノ船舶ノ登記用紙ニ抵當權又ハ貸借權ノ登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十二條 第十六條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ變更後ノ事項ヲ記載シ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要ス

第二十三條 第十六條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ノ申請書ヲ受附ケタル時ニ於テ未タ管海官廳ヨリ其事項ニ關スル通知ヲ受ケサルトキ又ハ其申請書ニ記載シタル登記ノ目的カ管海官廳

知ト符合セザルトキハ不動産登記法第四十九條ノ規定ヲ準用ス但登記ノ目的カ申請書ニ添附シタル船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ト符合スルトキハ此限ニ在ラス

第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於ケル船籍港變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ新船籍港ノ登記簿ニ舊船籍港ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ舊船籍港ノ登記ヲ移スコトヲ要ス
ナ記載シ其左側ニ舊船籍港ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ何船籍港ノ登記簿ニ依リ登記ヲ移シタル旨及申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第二十五條 船舶所有者カ船籍港ヲ甲登記所ノ管轄地ヨリ乙登記所ノ管轄地ニ移シタルトキハ舊船籍港ノ登記簿及ヒ其附屬書類ノ謄本ノ交付ヲ甲登記所ニ申請シ其謄本ヲ乙登記所ニ提出シテ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前條第二項第三項及ヒ不動産登記法第九條第二項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船舶管理人ノ更迭ノ登記ハ所有權ノ登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條 船舶管理人ノ表示ノ變更ヲ登記ハ本人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條 所有權ノ移轉ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其移轉ノ結果ニ因リ共有カ消滅スヘキトキハ船舶管理人ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十九條 未登記ノ船舶所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

333

規 法 屬 附 法 商

第三十條 左ノ場合ニ於テハ所有權ノ登記名義人ハ申請書ニ事由ヲ記載シテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

一 船舶カ滅失又ハ沈没シタルトキ

二 船舶カ解散セラレタルトキ

三 船舶ノ存否カ六個月間分明ナラサルトキ

四 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ其事實ヲ證スル官吏又ハ公吏ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三節 抵當權及ヒ貸借權ニ關スル登記手續

第三十一條 登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第百十七條ニ

掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ中

請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 船舶ノ種類

二 龍骨ノ長サ若シ船舶カ石敷ヲ以テ積量ヲ表示スルモノナルトキハ船ノ長サ

三 計量ノ幅及ヒ深サ

四 計量ノ積量

五 製造地

六 造船者ノ氏名、住所若シ造船者カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所

七 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項

第三十四條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前條第一號乃至第六

號ニ掲ケタル事項ヲ證スル造船者ノ書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第三十五條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條 特別登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ、表

示欄ニ第三十三條第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ且甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏

名、住所及ヒ抵當權ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十七條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船籍港カ抵當

權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ所有權ノ登記ヲ爲シタル後其登記用紙ニ抵當

權ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

抵當權ノ登記ヲ移ストキハ其登記ノ末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日

ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

抵當權ノ登記ヲ移シタルトキハ之ニ關スル特別登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第三十八條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船籍港カ抵當

權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬セサルトキハ申請書ニ特別登記簿ノ謄本ヲ添付スルコト

ヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ移スコトヲ要

ス 前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前登記所カ特別登記簿ノ謄本ヲ交付シタルトキハ其用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス
 第三十九條 船長カ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權ノ登記ハ
 日本ニ於テハ其契約ヲ爲シタル港ヲ管轄スル登記所、外國ニ於テハ最近ノ日本領事館ヲ以テ管
 轄登記所トス

第四十條 船長カ前條ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶ヲ抵當ト爲シタル事由ヲ記載
 スルコトヲ要ス

第四十一條 第三十九條ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條 特別登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ船舶
 ノ種類、名刺並ニ積量及ヒ船籍港ヲ記載シ且甲區事項欄ニ船舶所有者ノ氏名、住所及ヒ抵當權
 ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十三條 第三十九條ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ代理權ヲ證スル書面カ船中ニ備ヘ置クヘキモノ
 ナルトキハ登記官吏ハ登記完了ノ後之ヲ還附スルコトヲ要ス

第四十四條 第三十九條ニ定メタル登記所ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル登記所
 ニ特別登記簿ノ謄本ヲ移送シ其用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第四十五條 特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ハ其謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其末
 尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコト
 ヲ要ス

登記官吏カ登記證書ニ依リ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權
 アルコトヲ知リタルトキハ前項ノ登記ヲ爲スマテ登記簿ニ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス此場合ニ

於テ登記ノ申請アリタルトキハ其登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二條及ヒ第十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 登記官吏カ貸借權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第二百二十七條
 第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十七條 既登記ノ船舶ニ關スル未登記ノ抵當權又ハ貸借權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之
 ナ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第二百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條 此規則ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十九條 不動産登記法第六十二條ノ規定ハ明治十年第二十八號布告ニ從ヒテ公證ヲ經タル
 證書面ノ權利ニ之ヲ準用ス

第五十條 不動産登記法第六十三條ノ規定ハ此規則施行前ニ登記シタル船舶ニ付キ此規則施行
 ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス但登記用紙中表示欄ニ移スヘキ船舶ノ表示ハ第十六
 條ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ非スシテ此規則施行前ニ登記セザリシ船舶ニ付テ
 ハ船舶法第四條ノ規定ニ依リテ其積量ノ測定ヲ受ケルマテハ舊法ノ規定ニ依リテノミ登記ヲ爲
 スコトヲ得但貸借權ノ登記ニ付テハ舊登記用紙ニ丁區事項欄ヲ追加シ之ニ關シテハ此規則ノ規
 定ヲ適用ス

前條ノ規定ハ前項ノ船舶ニ付キ此規則ニ依リテ登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ付キ此規則施行前ニ爲シタル登記アルトキハ此規則施行ノ後ト雖モ舊法ノ規定ニヨリテ其登記ノ變更又ハ抹消ヲ申請スルコト得
前項ノ船舶ノ所有權カ移轉シタルトキハ其船舶ニ付キ此規則施行前ニ爲シタル質入又ハ書入ノ登記アル場合ニ限リ此規則施行ノ後ト雖モ所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得
前二項ニ定メタル申請アリタルトキハ登記官吏ハ舊法ノ規定ニ依リ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條 此規則ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム

船舶登記取扱手續 (明治三十二年六月司法省令第三十五號)

船舶登記取扱手續左ノ通相定ム

- 第一條 船舶登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 船舶共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第三條 船舶特別登記簿ハ附錄第一號雜形ニ準シ船舶特別共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 船舶登記見出張ハ附錄第三號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第五條 船舶登記見出張ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其船名ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ船舶ノ名稱、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第六條 受附帳ハ附錄第四號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
第七條 船舶登記證書ハ附錄第五號雜形ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ
第八條 船舶所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村長(市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員)ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但不動産ノ登記ニ關シ其登記所ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ此限ニ在ラス
第九條 船舶所有スル法人ノ代表者ハ法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト船籍港ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス
第十條 印鑑ハ附錄第六號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第十一條 第八條ノ規定ハ官廳又ハ公署ニハ之ヲ適用セス

- 一 謄本抄本交付帳
- 二 登記證書交付帳
- 三 申請書囑託書通知書附屬書類送達帳 (明治三十二年七月司法省令第十五號ヲ以テ本號ヲ改ム)
- 四 受領證原符元帳
- 五 各種通知簿
- 六 登記立會調書送達帳
- 七 決定原本送達帳

- 八 登記簿謄本綴込帳
 - 九 船舶異動通知書綴込帳
 - 十 船舶登記簿通知簿
 - 十一 抗告書類綴込帳
 - 十二 本登記簿綴込帳
 - 十三 印鑑簿
 - 十四 印鑑證明書類綴込帳 (同上法令ヲ以テ本號ヲ加フ)
 - 十五 還納受領證綴込帳 (同上)
- 第十一條ノ二 前條第二號乃至第十二號第十四號及第十五號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ (同上法令ヲ以テ本條ヲ加フ)
- 第十二條 登記簿謄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スルシテ但願覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スルニシテ
- 一 船舶ノ種類及ヒ名稱
 - 二 船籍港
 - 三 手数料ノ金額
 - 四 登記所ノ表示
 - 五 年月日
- 第十三條 登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ

- 交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ
- 第十四條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作リ其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之任年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スヘシ
- 此謄本ハ何船籍港ノ登記簿ニ依リ之ヲ作リ茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證スヘシ
- 前項ノ規定ノ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃郡紙ヲ用ユヘシ
- 第十四條ノ二 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ (同上)
- 受附帳、登記立會調書綴込帳、登記簿謄本綴込帳及ヒ船舶異動通知書綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
- 決定原本綴込帳、抗告書類綴込帳及ヒ印鑑證明書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ
- 謄本抄本交付帳、登記簿綴込帳、受領證原符元帳、各種通知簿、船舶登記簿通知簿、本登記簿綴込帳及ヒ還納受領證綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ
- 前項ノ帳簿ハ保存期間ハ當該年度ノ翌年三月三十一日ヲ起算ス
- 第十五條 登記簿申請書ニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第三條第一項第一號乃至第十號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ
- 第十六條 登記原因及ヒ登記ノ目的方同ニシテ且登録稅法第三條第七號乃至第十號第十四號第十五號但書ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スルキ場合ニ於テ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ船舶ト關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録稅額額額納付スル (明治三十六年十月司法令第二十六號ヲ以テ本條ヲ改ム)

前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタル時ハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應ジ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但ニ通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ申請人カ他少登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證書ヲ添附スヘシ

第十七條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 登記證書ヲ交付スルトキハ登記證書交付帳ニ登記番號、船舶ノ種類、名稱並ニ船籍港、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ登記證書下契印スヘシ

第十九條 船舶登記規則第三條第一項ノ通知ニハ船舶ノ種類、名稱、積量、船籍港、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

第二十條 船舶登記規則第三條第二項ノ規定ニ依リ管海官廳ヨリ受ケタル通知書ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル船舶異動通知書送帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入スヘシ

第二十一條 管海官廳ヨリ異動ノ通知ヲ受ケタル船舶ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其異動ニ關シ船舶異動通知書ノ冊數、丁數欄ニ爲シタル記入ヲ朱抹スヘシ

第二十二條 登記番號ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第二十三條 船舶登記規則第五十一條第一項但書ノ規定ニ依リ舊登記簿用紙ニ丁區事項欄ヲ追加スル場合ニ於テハ舊登記用紙中丙區ノ左側ニ附錄第一號雛形中丁區事項欄ノ部分ト同一ノ用紙ヲ貼附シ登記官吏契印スヘシ

第二十四條 不動産登記法施行細則第二條第二項第三項第四條第五條第十條第十二條第十三條第十五條第十七條第十八條第二十條乃至第二十四條第二十七條第二十九條第三十三條第三十四條第三十六條第三十七條第三十九條第四十條第四十五條乃至第四十七條第四十九條第五十一條乃至第六十條第六十四條乃至第六十七條第六十九條乃至第七十六條及ヒ商業登記取扱手續第十三條第四十六條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之ヲ準用ス

附錄第一號	船舶登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ	地方裁判所長	一枚

(權律貨) 區 丁		(權當抵)	船 船 登 記 簿	區 丙		(人管船) 區 乙
番順位	番順位			番順位	番順位	番順位
海	海			事	事	事
項	項			項	項	項
欄	欄			欄	欄	欄
番順位	番順位		番順位	番順位	番順位	
事	事		事	事	事	
項	項		項	項	項	
欄	欄		欄	欄	欄	
番順位	番順位		番順位	番順位	番順位	
事	事		事	事	事	
項	項		項	項	項	
欄	欄		欄	欄	欄	

第 號		番 登 記 號	表 示 欄	
(示表船) 部 題		表 示 欄	表 示 欄	
甲		番 順 位	表 示 欄	
番 順 位		番 順 位	表 示 欄	
事 項 欄		事 項 欄	表 示 欄	
番 順 位		番 順 位	表 示 欄	
事 項 欄		事 項 欄	表 示 欄	
番 順 位		番 順 位	表 示 欄	
事 項 欄		事 項 欄	表 示 欄	
番 順 位		番 順 位	表 示 欄	
事 項 欄		事 項 欄	表 示 欄	

船舶共同人名簿										
申請人ノ氏名、住所										
持分										
像										
備										
船名	船種	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主
船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主	船主
持分	持分	持分	持分	持分	持分	持分	持分	持分	持分	持分
像	像	像	像	像	像	像	像	像	像	像
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備

附錄第二號	
船舶共同人名簿	
地方裁判所長	
紙數表紙ヲ除キ	
枚	
區	
裁判所	
紙數表紙ヲ除キ	枚
區	裁判所

附錄第四號	
船舶登記受附帳	
區 裁 判 所	

部										
										船舶ノ名稱
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										番登記
										號記
										船舶異動通知
										書ノ冊數、丁數
										備
										考

部										
										船舶ノ名稱
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										番登記
										號記
										船舶異動通知
										書ノ冊數、丁數
										備
										考

附錄第三號	
船舶登記見出張	
區 裁 判 所	

附錄第六號 (用紙厚紙五寸横一寸)

郡市町村番地

印 鑑

氏 名

何年何月生

(注意) 法人ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業所ノ所在地、法人ノ名稱並ニ代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

船籍港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル時船舶登記ノ事務ヲ取扱フ登記所 (明治三十二年七月司法省令第三十九號)

船籍港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其船舶登記ノ事務ハ商業登記ニ付委任シタル登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料

(明治三十二年六月司法省令第三十七號)

船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料左ノ通相ム

第一條 船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 船舶登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第三條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五拾錢ヲ納ムヘシ

第四條 特別登記簿ニ船舶ニ關スル登記ナキトノ證明ヲ請求スル者ノ每一件手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第四條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第七條 本令ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七編 追錄

商事非訟事件印紙規則 (明治三十八年六月律令第八條)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル商事非訟事件印紙規則勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

商事非訟事件印紙規則

第一條 商法中登記ニ關スル場合ヲ除外非訟事件ニ付法院ノ命令其ノ他ノ處分ヲ求ムル者ハ明

治二十三年法律第六十六號商事非訟事件印紙法ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ但シ同法第四條ニ定ムル印紙額ニ付テハ左ノ區別ニ從フ

財團價格十圓マテ	六十錢
同 五十圓マテ	三圓
同 百圓マテ	六圓
同 五百圓マテ	二十圓
同 千圓マテ	三十圓
同 五千圓マテ	五十圓
同 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ四圓ヲ加フ	

第二條 明治三十一年律令第六號民事訴訟用印紙規則ハ本則ノ規定ニ牴觸セサルモノニ限り之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業登記取扱所

(明治三十八年十二月司法省令第三十三號)

岡山地方裁判所管内勝山區裁判所落合出張所管轄美作國眞庭郡川東村大字西原、下見田原、赤野、法界寺ニ屬スル商業登記ノ事務ハ同區裁判所久世出張所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ明治三十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

同上

(明治三十八年十二月司法省令第三十八號)

横濱地方裁判所管内横濱區裁判所神奈川出張所管轄武藏國横濱市林町ニ屬スル商業登記ノ事務ハ横濱區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

商
法
終

民事訴訟法

商
法
終

民 事 訴 訟 法

民事訴訟法目次

第一編 民事訴訟法及民事訴訟法施行條例

民事訴訟法	一
第一編 總 則	一
第一章 裁判所	一
第一節 裁判所ノ事物ノ管轄	一
第二節 裁判所ノ土地ノ管轄	三
第三節 管轄裁判所ノ指定	五
第四節 裁判所ノ管轄ニ付テノ合意	六
第五節 裁判所職員ノ除斥及ヒ忌避	六
第六節 檢事ノ立會	八
第二章 當事者	九
第一節 訴訟能力	九
第二節 共同訴訟人	一〇
第三節 第三者ノ訴訟參加	一〇
第四節 訴訟代理人及ヒ輔佐人	一四
第五節 訴訟費用	一七
第六節 保 證	二〇

第七節 訴訟上ノ救助……………二一

第三章 訴訟手續……………二三

第一節 口頭辯論及ヒ準備書面……………二三

第二節 送達……………三〇

第三節 期日及ヒ期間……………三四

第四節 懈怠ノ結果及ヒ原狀回復……………三七

第五節 訴訟手續ノ中斷及ヒ中止……………三八

第二編 第一審ノ訴訟手續……………四〇

第一章 地方裁判所ノ訴訟手續……………四〇

第一節 判決前ノ訴訟手續……………四〇

第二節 判決……………四七

第三節 闕席判決……………五一

第四節 計算事件、財産分別及ヒ此ニ類スル訴訟ノ準備手續……………五四

第五節 證據調ノ總則……………五六

第六節 人證……………五八

第七節 鑑定……………六六

第八節 書證……………六八

第九節 檢證……………七三

第十節 當事者本人ノ訊問……………七三

第十一節 證據保全……………七四

第二章 區裁判所ノ訴訟手續……………七六

第一節 通常ノ訴訟手續……………七六

第二節 督促手續……………七七

第三編 上訴……………八〇

第一章 控訴……………八〇

第二章 上告……………八六

第三章 抗告……………九〇

第四編 再審……………九三

第五編 證書訴訟及ヒ爲替訴訟……………九七

第六編 強制執行……………九九

第一章 總則……………九九

第二章 金錢ノ債權ニ付テノ強制執行……………一〇四

第一節 動産ニ對スル強制執行……………一〇五

第一款 通則……………一〇五

第二款 有體動産ニ對スル強制執行……………一〇五

第三款 債權及ヒ他ノ財産權ニ對スル強制執行……………一〇七

第四款 配當手續……………一〇七

第二節 不動産ニ對スル強制執行……………一二九

第一款 通則……………一二九

第二款 強制競買……………一三〇

第三款 強制管理……………一四四

第三節 船舶ニ對スル強制執行……………一四七

第三章 金錢ノ支拂ヲ目的トセサル債權ニ付テノ強制執行……………一四九

第四章 假差押及ヒ假處分……………一五〇

第七編 公示催告手續……………一五五

第八編 仲裁手續……………一五九

民事訴訟法施行條例……………一六三

民事訴訟特別手續……………二〇六

第二編 民事訴訟法ニ關スル法規

第一章 訴訟

民事上ノ訴ニシテ明治二十八年五月八日以前ニ訴權ノ發生シタルモノハ受理セサルノ件……………一六五

民事訴訟法第十四條ニ因リ國ヲ代表スル者……………一六五

同上……………一六六

同上……………一六六

同上……………一六六

同上……………一六七

同上……………一六七

同上……………一六七

同上……………一六七

同上……………一六七

同上……………一六七

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六八

同上……………一六九

同上……………一六九

同上……………一六九

同上……………一六九

同上……………一六九

同上……………一七〇

同上……………一七〇

同上……………一七〇

民事訴訟用印紙法……………一七〇

民事訴訟用印規則……………一七三

同 施行細則……………一七六

訴訟書類郵便送達手数料……………一七八

民事訴訟法第一百五十二條第一百五十三條ニ依リテ爲ス送達ノ囑託手續準據方……………一七八

民事上告豫納金規則……………一七八

民事訴訟費用法……………一七九

民事訴訟費用規則……………一八一

第二章 調停

辨務署長ハ民事争訟ヲ調停スルヲ得ルノ件……………一八三

辨務署ニ於ケル民事争訟ノ調停ノ時ニハ代人ヲ許サス……………一八三

廳長ヲシテ民事争訟調停等ヲ取扱ハシムル件……………一八三

廳長ヲシテ民事争訟調停ヲ取扱ハシムル律令施行細則……………一八四

民事争訟調停費用規則……………一八八

民事争訟調停及其執行ヲ取扱ハシムル廳長指定……………一八八

第三編 家資分散

家資分散法……………一八九

華族及華族ノ子弟「身代限」處分濟ノ上ハ宮内省華族局へ通牒方……………一九〇

裁判所ニ於テ「身代限」又ハ抵當物公賣處分ヲ爲ス時及其處分ヲ取消ス時登記所ニ通……………一九〇

知セシム……………一九〇

裁判所ニ於テ「身代限」處分又ハ抵當物公賣處分ノ未落札セシトキ登記所ニ通知方……………一九〇

第四編 人事訴訟手續

人事訴訟手續法……………一九一

第一章 婚姻事件及養子縁組事件ニ關スル手續……………一九一

第二章 親子關係事件、相繼人廢除事件及隱居事件ニ關スル手續……………一九六

第三章 禁治産及準禁治産ニ關スル手續……………一九八

第四章 失踪ニ關スル手續……………一九八

附則……………二〇四

人事訴訟手續法第一條第三項ノ場合ニ於ケル住所ノ件……………二〇四

同上……………二〇五

人事訴訟手續法第三章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告方法……………二〇五

同上……………二〇五

第五編 追録

不動産登記ニ付囑託官吏ノ指定……………二〇六

民事訴訟特別手續……………二〇六

民事訴訟法目次終

民事訴訟法

第一編 民事訴訟法及民事訴訟法施行條例

民事訴訟法

(明治二十三年三月法律第二十九號)

朕民事訴訟法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス
民事訴訟法

第一編 總 則

第一章 裁判所

第一節 裁判所ノ事物ノ管轄

第一條 裁判所ノ事物ノ管轄ハ裁判所構成法ノ規定ニ從フ

第二條 訴訟物ノ價額ニ依リ管轄ノ定マルトキハ以下數條ノ規定ニ從フ

第三條 訴訟物ノ價格ハ起訴ノ日時ニ於ケル價額ニ依リ之ヲ算定ス

果實、損害賠償及ヒ訴訟費用ハ法律上相牽連スル主タル請求ニ附帶シ一ノ訴ヲ以テ請求スルト
キハ之ヲ算入セス

第四條 一ノ訴ヲ以テ數箇ノ請求ヲ爲ストキハ前條第二項ニ掲クルモノヲ除ク外其額ヲ合算ス
本訴ト反訴トノ訴訟物ノ價格ハ之ヲ合算セス

第五條 訴訟物ノ價格ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

第一 債權ノ擔保又ハ債權ノ擔保ヲ爲ス從タル物權カ訴訟物ナルトキハ其債權ノ額ニ依ル但物權ノ目的物ノ價額寡キトキハ其額ニ依ル

第二 地役カ訴訟物ナルトキハ要役地ノ地役ニ依リ得ル所ノ價額ニ依ル但地役ノ爲メ承役地ノ價額ノ減シタル額カ要役地ノ地役ニ依リ得ル所ノ價額ヨリ多キトキハ其減額ニ依ル

第三 貸貸借又ハ永貸借ノ契約ノ有無又ハ其時期ノ訴訟物ナルトキハ爭アル時期ニ當ル借賃ノ額ニ依ル但一个年借賃ノ二十倍ノ額カ右ノ額ヨリ寡キトキハ其二十倍ノ額ニ依ル

第四 定時ノ供給又ハ收益ニ付テノ權利カ訴訟物ナルトキハ一个年收入ノ二十倍ノ額ニ依ル但收入權ノ期限定マリタルモノニ付テハ其將來ノ收入ノ總額カ二十倍ノ額ヨリ寡キトキハ其額ニ依ル

第六條 訴訟物ノ價額ハ必要ナル場合ニ於テハ第三條乃至第五條ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム

裁判所ハ申立ニ因リ證據調ヲ命シ又ハ職權ヲ以テ檢證若クハ鑑定ヲ命スルコトヲ得

第七條 地方裁判所ノ判決ニ對シテハ其事件カ區裁判所ノ事物ノ管轄ニ屬ス可キ理由ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 事物ノ管轄ニ付キ區裁判所又ハ地方裁判所カ管轄違ナリト宣言シ其裁判確定シタルトキハ此裁判ハ後ニ其事件ノ繫屬ス可キ裁判所ヲ編束ス

第九條 地方裁判所カ事物ノ管轄違ナリトシテ訴ヲ却下スルトキハ原告ノ申立ニ因リ同時ニ判決ヲ以テ原告ノ指定シタル自己ノ管轄内ノ區裁判所ニ其訴訟ヲ移送ス可シ

區裁判所カ事物ノ管轄違ナリトシテ訴ヲ却下スルトキハ同時ニ判決ヲ以テ其訴訟ヲ所屬ノ地方裁判所ニ移送ス可シ

移送ノ申立ハ判決ニ接著スル口頭辯論ノ終結前ニ之ヲ爲ス可シ

移送言渡ノ判決確定シタルトキハ其訴訟ハ移送ヲ受ケタル裁判所ニ繫屬スルモノト看做ス

第二節 裁判所ノ管轄(裁判籍)

第十條 人ノ普通裁判籍ハ其住所ニ依リテ定マル普通裁判籍アル地ノ裁判所ハ其人ニ對スル總テ

ノ訴ニ付キ管轄ヲ有ス但訴ニ付キ專屬裁判籍ヲ定メサル場合ニ限ル

第十一條 軍人ノ軍屬ハ裁判籍ニ付テハ兵營地若クハ軍艦定繫所ヲ以テ住所トス但此規定ハ豫備

後備ノ軍籍ニ在ル者及ヒ兵役義務履行ノ爲メノ三服役スル軍人ノ軍屬ニ之ヲ適用ス

第十二條 外國ニ在ル本邦ノ公使及ヒ公使館ノ官吏並ニ其家族ハ從者ノ裁判籍上ノ住所ハ本邦ニ

於テ本人ノ最後ニ有セシ住所ナリトス此住所ナキモノニ付テハ司法大臣ノ命令ヲ以テ豫メ定メ

ル東京内ノ區ヲ以テ其住所ナリトス

第十三條 內國ニ住所ヲ有セサル者ノ普通裁判籍ハ本人ノ所在地ニ依リテ定メラル若シ其現在地ニ

知レザルカ又ハ外國ニ在ルトキハ其最後ニ有セシ內國ノ住所ニ依リテ定マル

第十四條 國ノ普通裁判籍ハ訴訟ニ付キ國ヲ代表スル官廳ノ所在地ニ依リテ定マル但訴訟ニ付キ

公又ハ私ノ法人及ヒ其資格ニ於テ訴訟ヲ爲スルコトヲ得ル會社其他ノ社團又ハ財團等ノ普通裁判

籍ハ其所在地ニシテ定メラルル此所在地ノ別段ヲ定メテ其事務所所在地及地籍簿ヲ事務所
第廿五條 生徒、雇人、營業使用人、職工、習業者其他性質上一定ノ地ニ永ク寓在スル者ハ對シテ
財產權上ノ請求ニ付テハ其現在地ノ裁判所ニ之ヲ起スコトヲ得

兵役義務履行ノ爲メノシテ服役スル軍人ハ軍艦ニ當リテハ其兵營地若シテ軍艦定繫所及裁判所
三前項ノ訴ヲ起スコトヲ得

第廿六條 製造、商業其他ノ營業ニ付キ直接ニ取引ヲ爲ス店舗等有スル者ハ對シテハ其店舗所在
地ノ裁判所ニ營業上ニ關スル訴ヲ起スコトヲ得

前項ノ裁判所ニ住家及ヒ農業用建物アル地所ヲ利用スル所有者ハ用益者又ハ貸借人ニ對シテ
三付テモ亦之ヲ適用ス但此訴カ地所ノ利用ニ付テハ權利關係ヲ有スル者ニ限ル

第十七條 内國ニ住所ヲ有セサル債務者ニ對スル財產權上ノ請求ニ付テハ其財產又ハ住所
シテ請求スル物ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ起スコトヲ得債權ニ付テハ債務者(第三債務者)ノ住所
ヲ以テ其財產ノ所在地又ハ債權ニ付キ物ヲ擔保ノ責ヲ負フトキハ其物ノ所在地ヲ以テ財產ノ
所在地トス

第十八條 契約ノ成立若クハ不成立ノ確定又ハ其履行若クハ銷除、廢罷、解除又ハ其不履行若クハ
未十分ノ履行ニ關スル賠償ノ訴ハ其訴訟ニ係ル義務ヲ履行ス可キ地ノ裁判所ニ之ヲ起スコトヲ
得

第十九條 會社其他ノ社團ヨリ社員ニ對シ又ハ社員ヨリ社員ニ對シ其社員タル資格ニ基ク請求ノ
訴ハ其會社其他ノ社團ノ普通裁判籍アル地ノ裁判所ニ之ヲ起ス得

第二十條 不正ノ損害ノ訴ハ責任者ニ對シ其行為ノ有リタル地ノ裁判所ニ之ヲ起スコトヲ得

第二十一條 辯護士又ハ執達吏ノ手数料及ヒ立替金ニ付キ其委任者ニ對スル訴訟物ノ價額
多寡ニ拘ハラズ本訴訟ノ第一審裁判所ニ之ヲ起スコトヲ得

第二十二條 不動産ニ付テハ其所在地ノ裁判所ハ總テ不動産社ノ訴訟ニ本權並ニ占有ノ訴訟七分
割並ニ境界ノ訴ヲ專ラニ管轄ス

地役ニ付テハ其承役地所在地ノ裁判所專ラニ之ヲ管轄ス

第二十三條 不動産上ノ裁判籍ニ於テハ債權ノ擔保ヲ爲ス從タル物權ニ基ク不動産上ノ訴ニ附帶
シテ同一被告ニ對スル債權ノ訴ヲ起スコトヲ得

不動産上ノ裁判籍ニ於テハ不動産ノ所有者若クハ占有者ニ對スル人權ノ訴又ハ不動産ニ加ヘタ
ル損害ノ訴ヲ起スコトヲ得

第二十四條 相續權、遺贈其他死亡ニ因リテ效果ヲ生ズル繼承分ニ基ク請求ノ訴ハ遺產者死亡ノ
時普通裁判籍ヲ有セシ裁判所ニ之ヲ起スコトヲ得

相續裁判籍ニ於テハ遺產債權者ヨリ遺產者又ハ相續人ニ對スル請求ノ訴ヲ起スコトヲ得但遺產
ノ全部又ハ十分カ其裁判所ノ管轄區内ニ存在スルトキニ限ル

第二十五條 第二十二條ノ規定ヲ除外原告ハ數箇ノ管轄裁判所ノ中ニ就キ選擇ヲ爲スコトヲ得
第三節 管轄裁判所ノ指定

第二十六條 管轄裁判所ノ指定ハ裁判所構成法ニ定メタル場合ノ外尚ホ不動産上ノ裁判籍ニ訴ヲ
起ス可キ場合ニ於テ不動産數箇ノ裁判所ノ管轄區内ニ散在スル其地所亦之ヲ爲ス

第二十七條 管轄裁判所ノ指定ニ付キ申請ヲ爲ス場合及ヒ其決定ヲ爲ス裁判所ハ裁判所構成法第

十條ノ規定ニ從フ

第二十八條 管轄裁判所ノ指定ニ付テノ申請ハ書面又ハ口頭ヲ以テ其申請ニ付キ管轄權ヲ有スル裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ得

右裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ其申請ヲ決定ス

管轄裁判所ヲ定メタル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四節 裁判所ノ管轄ニ付テノ合意

第二十九條 第一審裁判所ハ當然管轄權ヲ有セサルモ當事者ノ合意ニ因リ管轄權ヲ有ス但書面ヲ以テ合意ヲ爲シ且其合意カ一定ノ權利關係及ヒ其權利關係ヨリ生スル訴訟ニ係ルトキニ限ル

第三十條 被告カ管轄違フ申立ヲ爲サスシテ本案ノ口頭辯論ヲ爲ストキハ亦前條ノ同一ノ效力ヲ生ス

第三十一條 左ノ場合ニ於テハ第二十九條及ヒ第三十條ノ規定ヲ適用セス

第一 財産權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ係ルトキ

第二 專屬管轄ニ屬スル訴ナルトキ

第五節 裁判所職員ノ除斥及ヒ忌避

第三十二條 判事ハ左ノ場合ニ於テ法律ニ依リ其職務ノ執行ヨリ除斥セラル可シ

第一 判事又ハ其協力原告若クハ被告タルトキ又ハ訴訟ニ係ル請求ニ付キ當事者ノ一方若クハ雙方ト共同權利者、共同義務者若クハ償還義務者タル關係ヲ有スルトキ

第二 判事又ハ其協力當事者ノ一方若クハ雙方又ハ其配偶者ト親族ナルトキ但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖モ亦同シ

第三十三條 判事カ同一ノ事件ニ付キ證人若クハ鑑定人ト爲リテ訊問ヲ受ルトキ又ハ訴訟代理人タル任ヲ受ケルトキ若クハ受ケタルトキ又ハ法律上代理人ト爲ル權利ヲ有スルトキ若クハ之ヲ有スルコトヲ得

第四十四條 判事カ不服ノ申立アル裁判ヲ前審又ハ仲裁ニ於テ爲ス當價判事又ハ仲裁人トシテ干與シタルトキ但此場合ニ於テ判事ハ受命判事又ハ受託判事トシテハ職務ノ執行ヨリ除斥セラル

第三十三條 判事カ法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラザルトキ及ヒ偏頗ノ恐アルトキハ總テノ場合ニ於テ各當事者ヨリ之ヲ忌避スルコトヲ得

偏頗ノ忌避ハ判事ノ不公平ナル裁判ヲ爲スコトヲ疑フニ足ル可キ事情アルトキ之ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 判事カ法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラルル場合ニ於ケル判事ノ忌避ハ其訴訟ノ如何ナル程度ニ在ル先問ハス之ヲ爲スコトヲ得

偏頗ノ恐アル場合ニ於テハ原告若クハ被告其覺知シタル忌避ノ原因ヲ主張セスシテ判事ノ面前ニ於テ申立ヲ爲シ又ハ相手方ノ申立ニ對シ陳述ヲ爲シタル後ハ其判事ヲ忌避スルコトヲ得

第三十五條 忌避ノ申請ハ判事所屬ノ裁判所ニ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

忌避ノ原因ハ之ヲ説明スルコトヲ要ス忌避セラレザル判事ノ職務上ハ陳述ハ其説明ノ用ニ充テラルコトヲ得

原告若クハ被告カ判事ノ面前ニ於テ申立ヲ爲シ又ハ相手方ノ申立ニ對シ陳述ヲ爲シタル後其判事ニ對シ偏頗ノ忌避ヲ爲ストキハ忌避ノ原因其後ニ生シ又ハ之ヲ其後ニ覺知シタルコトヲ説明

不可... 第三十六條 忌避セシメタル判事合議裁判所ニ屬スルトキハ其裁判所忌避ノ申請ヲ裁判ス但忌避セラレタル判事ハ其裁判ニ參與スルコトヲ得ス

若シ其裁判所右判事ヲ退去ニ因リ決定ヲ爲スコト能ハズトキハ直近上級ノ裁判所其申請ヲ裁

區裁判所判事忌避セラレタルトキハ上級ノ地方裁判所其申請ヲ裁判ス若シ區裁判所判事力忌避

第三十七條 忌避ノ申請ヲ付テ之ヲ裁判スル日頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得忌避セラレタル判

事先少申請ノ理由ヲ付テ職務注意見ヲ述テ可シトキハ其申請ノ理由ハ其地裁

第三十八條 忌避ノ申請ヲ正當ナリト宣言スル決定ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス其申請ヲ不

當力ト宣言スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ス其申請ノ理由ハ其地裁

第三十九條 忌避セラレタル判事ハ忌避申請ノ完結スルマテ總テノ行為ヲ避ケ可シ然レトモ偏頗

之爲ニ忌避セラレタル判事ハ猶豫ス可カラザル行為ヲ爲ス可シ然レトモ偏頗

第四十條 忌避申請ノ管轄裁判所ハ其申請アラサルモ忌避ノ原因タル事情ニ付キ判事ヨリ申出ア

ルモキ又ハ他ノ事由ヨリ然テ判事力法律依テ免除後決然疑アルモ亦裁判ヲ爲ス可シ

此裁判ハ豫メ當事者ヲ審訊セシメテ之ヲ爲ス又其裁判ハ之ヲ當事者共送達スルコトヲ要セ不與

第四十一條 本節ノ規定ハ裁判所書記ニモ之ヲ準用ス但其裁判ハ書記所屬ノ裁判所之ヲ爲ス

第六節 檢察ノ立會 第四十二條 檢察官ハ左ノ訴訟ヲ付キ意見ヲ述フル爲メ其日頭辯論ニ立會ヲ可シ

第一 公人ニ關スル訴訟 第三十一條 婚姻ニ關スル訴訟 第三十二條 夫孀間ノ財產ニ關スル訴訟

第三十三條 親子若クハ養親子ノ分限其他總テ人ノ分限ニ關スル訴訟 第三十四條 無能力者ニ關スル訴訟

第三十五條 養料ニ關スル訴訟 第三十六條 失踪者及ビ相續人關係ノ遺產ニ關スル訴訟

第三十七條 證書ノ偽造若クハ變造ノ訴訟 第三十八條 再審 第三十九條 檢察官陳述列當事者ノ辯論終

第四十條 當事者ハ檢察官意見ニ對シテ事實更正ノ付キ陳述ヲ爲スコトヲ得 第四十一條 第二審ノ當事者

第四十二條 第一節ノ訴訟能力 第四十三條 原告若クハ被告カ自ラ訴訟ヲ爲シ或ハ訴訟代理人カ之ヲ爲ル

第四十四條 代理人ニ依リ以訴訟無能力者ノ代表ト法律上代理人カ訴訟ヲ爲シ或ハ自ラ訴訟行為ヲ爲ス

第四十五條 外國人ハ自國ノ法律ニ從ヒ訴訟能力ヲ有セ或ハ自國ノ法律ニ從ヒ訴訟能力ヲ有セ

第四十六條 裁判所ノ訴訟ノ如何ハ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ

第四十七條 裁判所ノ訴訟ノ如何ハ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ

第四十八條 裁判所ノ訴訟ノ如何ハ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ

第四十九條 裁判所ノ訴訟ノ如何ハ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ

第五十條 裁判所ノ訴訟ノ如何ハ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ其程度ニ在リ